

【くらしき作陽大学 大学院】 専任教員数4名									
■音楽研究科									
No.	氏名	職位	役職	学位(資格)	主な担当科目	主な研究業績	主な職歴	所属学会	賞罰等
1	竹内京子	教授	大学院音楽研究科長、音楽学部長	芸術修士	主科レッスン(ピアノ) レスナー養成講座、ピアノ伴奏演習、音楽貢献実践A	ピアノ独奏曲、室内楽曲を含む演奏会を多数開催。ショパン作曲ピアノソナタ op. 58 を含むCDをリリース。ベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲 op. 58、ショパン作曲ピアノ協奏曲 op. 21、グリーグ作曲ピアノ協奏曲 op. 16 のソリストを務める。	倉敷市文化振興財団評議員、中国ユース音楽コンクール企画委員。	岡山県音楽教育学会	
2	大山敬子	教授		教育学士 中学校教諭一級免許状(国語) 中学校教諭二級免許状(音楽) 高等学校教諭二級免許状(国語)	合唱 音楽科教育法	・「だれにでもできるバンド指導」 ヤマハバンドクリニック実践発表・事例集 ・「音楽科授業実践事例」「学校の歌声を高める歌唱・合唱」 音楽之友社：教育音楽(中高版)連載 ・「積極的な生徒指導～幸せの学び」の研究と実践 文部科学省調査研究協力者会議報告 ・「合唱音楽の発展を求めて」 合唱団こぶ指揮者としての軌跡 ・「そうじゃ合唱塾」を中心とした地域音楽文化の育成 ・校長講和事例 ・「指揮で創る授業」	・岡山県公立中学校教諭 ・総社市立総社西中学校校長 ・岡山県中学校音楽研究会会長 ・岡山県音楽教育協議会会長 ・全日本音楽教育研究会理事 ・岡山県合唱連盟副理事長 ・総社市教育委員 ・岡山県芸術文化賞選考委員		・文部科学省全国優秀教員表彰 ・岡山県教育功 労者表彰 ・近藤安个指揮者賞 ・総社市教育委員会表彰(団体) ・谷口澄夫教育奨励賞(団体) ・岡山県芸術文化賞準グランプリ(団体)
3	米倉 由起	教授	キャリア支援委員会委員長	芸術学修士	専修実技(作曲) 音楽研究 和声学 音楽分析 作編曲法 管弦楽法概論	【作品】 ・第74回全国植樹祭テーマ曲作曲 ・岡山国体開会式歓迎演技「丹頂の舞」作曲 ・第25回国民文化祭おかやま2010岡山県バレー連盟委嘱「扇の童女と笛吹」作曲 ・「“After the Rain” for Sax.duo」World Saxophone Congress 第10回イタリア大会 【著書】 ・「カメあかちゃん海へ」(共著) マザーアース株式会社「阿波からのピアノ便り」19～20頁 ・「楽しいクリスマス」(共著) 音楽之友社「楽しいオペレッタ集2」40～63頁 【紀要】 ・「日本の子どもの歌」唱歌童謡集の分析と一考察(共著) 山陽論叢第24巻121～132頁 【演奏】 ・林原美術館共催チャリティコンサート「米倉孝と仲間たち」キーボード ・日本赤十字社岡山県支部におけるチャリティコンサート(2014～2019) キーボード	中国短期大学音楽科非常勤講師 くらしき作陽大学音楽学部非常勤講師 作陽短期大学音楽学科非常勤講師 くらしき作陽大学子ども教育学部非常勤講師	日本作曲家協議会 日本音楽著作権協会	
4	アンナ・オランスカヤ	講師			ロシア語I-VIII ロシア語演習I-VIII ロシア語会話I-VIII	アジア・太平洋地域出身文学部学生の聴き取り教育法	プーシキンロシア語大学 くらしき作陽大学		

【くらしき作陽大学 音楽学部】 専任教員数10名									
■音楽学科									
No.	氏名	職位	役職	学位(資格)	主な担当科目	主な研究業績	主な職歴	所属学会	賞罰等
1	竹内京子	教授	大学院音楽研究科長、音楽学部長	芸術修士	主科レッスン(ピアノ) レスナー養成講座、ピアノ伴奏演習、音楽貢献実践A	ピアノ独奏曲、室内楽曲を含む演奏会を多数開催。ショパン作曲ピアノソナタ op. 58 を含むCD をリリース。ベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲 op. 58、ショパン作曲ピアノ協奏曲 op. 21、グリーグ作曲ピアノ協奏曲 op. 16 のソリストを務める。	倉敷市文化振興財団評議員、中国ユース音楽コンクール企画委員。	岡山県音楽教育学会	
2	新名俊樹	教授	音楽学科長	学士(工学)	職業音楽人キャリアⅠ～Ⅱ DTM・DAW音楽制作演習Ⅰ～Ⅳ ビジュアルデザイン制作演習Ⅰ～Ⅳ スタジオ音響演習Ⅰ～Ⅱ	「(紀要)くらしき作陽大学音楽学部におけるキャリア教育の実践―職業音楽人キャリアⅠ―」 「(紀要)音楽デザイン専修におけるミュージックビデオ制作の実績と課題」 「(紀要)音楽デザイン専修における地域貢献活動の実績と課題」 「(紀要)音楽デザイン専修におけるインターンシップの方法」 「(音源)備中 ひと・風・景～高梁川流域百選テーマ曲」(山陽新聞倉敷本社・高梁川流域情報ネットワーク) 「(音源)コープはれとまとのうた」(生活協同組合おかやまコープ) 「(音源)KCT ワイドオープニング曲」(倉敷ケーブルテレビ)	三木楽器株式会社CAIシステム係長 神戸学院女子短期大学非常勤講師 くらしき作陽大学・作陽短期大学非常勤講師 作陽短期大学専任講師 くらしき作陽大学准教授		
3	大山敬子	教授		教育学士 中学校教諭一級免許状(国語) 中学校教諭二級免許状(音楽) 高等学校教諭二級免許状(国語)	合唱 音楽科教育法	・「だれにでもできるバンド指導」 ヤマハバンドクリニック実践発表・事例集 ・「音楽科授業実践事例」「学校の歌声を高める歌唱・合唱」音楽之友社：教育音楽(中高版)連載 ・「積極的な生徒指導～幸せの学び」の研究と実践 文部科学省調査研究協力者会議報告 ・「合唱音楽の発展を求めて」合唱団こぶ指揮者としての軌跡 ・「そうじゃ合唱塾」を中心とした地域音楽文化の育成 ・校長講和事例 ・「指揮で創る授業」	・岡山県公立中学校教諭 ・総社市立総社西中学校校長 ・岡山県中学校音楽研究会会長 ・岡山県音楽教育協議会会長 ・全日本音楽教育研究会理事 ・岡山県合唱連盟副理事長 ・総社市教育委員 ・岡山県芸術文化賞選考委員		・文部科学省全国優秀教員表彰 ・岡山県教育功 労者表彰 ・近藤安个指揮者賞 ・総社市教育委員会表彰(団体) ・谷口澄夫教育奨励賞(団体) ・岡山県芸術文化賞準グランプリ(団体)
4	米倉 由起	教授	キャリア支援委員会委員長	芸術学修士	専修実技(作曲) 音楽研究 和声学 音楽分析 作編曲法 管弦楽法概論	【作品】 ・第74回全国植樹祭テーマ曲作曲 ・岡山国体開会式歓迎演技「丹頂の舞」作曲 ・第25回国民文化祭おかやま2010岡山県バレエ連盟委嘱「扇の童女と笛吹」作曲 ・「“After the Rain” for Sax.duo」World Saxophone Congress 第10回イタリア大会 【著書】 ・「カメあかちゃん海へ」(共著) マザーアース株式会社「阿波からのピアノ便り」19～20頁 ・「楽しいクリスマス」(共著) 音楽之友社「楽しいオペレッタ集2」40～63頁 【紀要】 ・「日本の子どもの歌」唱歌童謡集の分析と一考察 (共著) 山陽論叢第24巻121～132頁 【演奏】 ・林原美術館共催チャリティコンサート「米倉孝と仲間たち」キーボード ・日本赤十字社岡山県支部におけるチャリティコンサート(2014～2019)キーボード	中国短期大学音楽科非常勤講師 くらしき作陽大学音楽学部非常勤講師 作陽短期大学音楽学科非常勤講師 くらしき作陽大学子ども教育学部非常勤講師	日本作曲家協議会 日本音楽著作権協会	
5	三宅 康一	教授	・全学教職課程運営部会 ・教員養成向上部会 副委員長	・芸術学士 ・中学校一種普通免許 ・高等学校一種普通免許	・音楽科教育法 ・指揮法 ・音楽教師概論 ・リコーラス ・教育楽器演習(合奏を含む) ・民族音楽概説 ・教師力養成講座	・海外教育事情視察報告書(文科省) ・第15回全国高等学校文化連盟研究大会研究発表(金沢市) ・岡山県音楽科教員指導力の改善・向上を図る研修会主宰 ・高大連携事業の研究推進・学力向上のためのプロジェクト研究 ・「岡山県高等学校音楽部会の取組」を中四国研究大会にて発表 ・くらしき作陽大学 作陽短期大学「研究紀要」第50巻1・2号合併号, 225～243 ・平成30年度岡山県高等学校教育研究会音楽部会大会に於いて指導助言及び高等学校における日本音楽の取り扱いについて講演 ・倉敷市保健所健康づくり課からの委嘱で「3ペジソング」作詞・作曲 ・第35回全国高等学校文化連盟研究大会研究紀要, 21～25 【紀要】 ・「音楽科教育演習(リコーラス)におけるループリックを活用したアクティブ・ラーニングの取組 ・高等学校における合同オーケストラの現状と課題	・岡山県立鴨方高等学校教諭 ・岡山県立岡山芳泉高等学校教諭 ・岡山県立岡山城東高等学校指導教諭 ・倉敷市民合唱連盟理事長 ・岡山県高等学校芸術文化連盟事務局長 ・岡山県高等学校芸術文化連盟文化交流委員長 ・岡山県高等学校音楽協議会理事長	・全日本音楽教育研究会大学部会常任理事 ・全国高等学校オーケストラ連盟参与	・くらしき作陽大学ティーチング・アワード 平成30年度表彰

6	澤田 秀実	教授	ラーニングサ ポートセンタ ー長	博士(歴史学) 文学修士 学芸員資格 教育職員免許中学 校・高等学校専修(社会)	キャンパスライフデ ザインⅠ・Ⅱ 社会人基礎力トレー ニングⅠ・Ⅱ 音楽隊筆記試験対策 講座 コンサートホールマ ネジメント	【著書】 『前方後円墳秩序の成立と展開』同成社(2017)(単著) 「チャイルドの考古学と近藤義郎」V.G.チャイルド(近藤義郎・下垣仁志訳)『ヨーロッパ文明の黎明』京都大学学術出版会(2024)(分担執筆) 「古墳時代とは」「美作地域の首長墳」『新修津山市史』通史編 自然風土・原始・古代 津山市 (2023)(分担執筆) 「国産銅鉛原材料の産出地と使用開始時期」『青銅器の考古学と自然科学』国立歴史民俗学博物館研究叢書 3 朝倉書店(2018)(分担執筆) 「墳丘・埋葬施設」『前期古墳編年を再考する』六一書房(2018)(分担執筆) 「多摩ニュータウン遺跡群～記録保存に徹した遺跡群」『文化財保存70年の歴史～明日への文化遺産』新泉社(2017)(分担執筆) 「東北の古墳」「山陽・四国の古墳」「古鏡」『古墳学入門』学生社(2003)(分担執筆) 【編著書】 『桜井茶臼山古墳の研究』大阪市立大学日本史研究室(2005)(共編著) 『川東車塚古墳の研究』吉備人出版(2004)(共編著) 『美作の首長墳』吉備人出版(2000)(共編著) 【論文】 「耳環の生産体制と副葬の意義～使用された金属原材料の検討から～」『日本列島と東アジアの考古学』雄山閣(2022) 「災害と文化財」『明日への文化財』86 文化財保存全国協議会(2021) 「日本列島における6世紀後半代の青銅原材料～環頭大刀柄頭の製作技法と合金成分～」『アジア鑄造技術史学会 研究発表概要集』14 アジア鑄造技術史学会(2021)(共著) 「中国四国地方で出土した銅鏡からみた国産銅鉛原材料の産出地と使用開始時期」『国立歴史民俗学博物館研究報告』213 国立歴史民俗学博物館(2019)(共著) 「国家形成過程における前方後円墳秩序の役割」『メトロポリタン史学』8 メトロポリタン史学会(2012) 「津山市油木北 殿田1号墳の研究」『研究紀要』42-2 くらしき作陽大学・作陽短期大学(2009)(共著) 「斎藤巖氏蔵 倭製四獣鏡」『研究紀要』38-2 くらしき作陽大学・作陽短期大学(2005)(共著) 【研究発表】 「同型鏡、後期倭鏡の青銅原材料」『考古学を核とした青銅器・青銅器文化・金工技術研究の国際的拠点形成』第3回共同研究会(於：島根大学)(2025年9月19日) 「古墳時代中期後半から後期の青銅製品、銅製品に用いられた銅鉛原材料」『日本考古学協会第91回総会』研究発表セッション6(於：筑波大学)(2025年5月25日) 「古墳時代中期後半から後期の青銅原材料」『考古学を核とした青銅器・青銅器文化・金工技術研究の国際的拠点形成』第2回共同研究会(於：島根大学)(2025年3月30日) 「月の輪古墳の墳丘と埋葬施設」『月の輪古墳再考』考古学研究会岡山例会第24回シンポジウム(於：岡山大学)(2025年2月16日) 「耳環に用いられた金属原材料について」東北大学金属材料研究所『人文科学と材料科学が紡ぐ新知創造学際領域の形成』(新知創造学際ハブ)第2回金属遺物ユニット定期研究会(於：オンライン)(2024年12月12日) 「日本列島における6世紀後半代の青銅原材料～環頭大刀柄頭の製作技法と合金成分～」アジア鑄造技術史学会(長柄毅一との共同発表)(於：富山大学高岡キャンパス)(2021年8月22日) 【その他】 「2024年度の「陵墓」調査見学参加記」『考古学研究』72-2 考古学研究会(2025)(共著) 「大山古墳(伝仁徳天皇陵)立入り観察見学記」『中四研だより』56号 中国四国前方後円墳研究会(2025) 「2023年度の「陵墓」調査見学参加記」『考古学研究』71-2 考古学研究会(2024)(共著) 「2022年度の「陵墓」調査見学参加記」『考古学研究』70-1 考古学研究会(2023)(共著) 「大山古墳(伝仁徳天皇陵)の限定公開参加記」『考古学研究』68-4 考古学研究会(2022)(共著) 「帆立貝形古墳のなかでの小山古墳の学術的意義」『岡山県遺跡保護調査団ニュース』55 岡山県遺跡保護調査団(2020) 「岡山県における2018年7月の豪雨による文化財被害～倉敷市真備町を中心に～」『考古学研究』65-2 考古学研究会(2018) 「古墳公園の保存、活用を考える～会津坂下町杵ガ森古墳の経験から～」『明日への文化財』76 文化財保存全国協議会(2017)	財)東京都教育文化財団 東京都埋蔵文化財センター 調査研究員 東京都立大学 助手 東京女子大学文学部 非常勤講師 専修大学文学部 非常勤講師 倉敷市文化財保護審議会 副会長 史跡榑築遺跡発掘調査委員会 副会長	日本考古学協会 理事 考古学研究会 常任委員 アジア鑄造技術史学会 会計監査 中国四国前方後円墳研究会 事務局 委員 メトロポリタン史学会 文化財保存全国協議会 代表委員 日本情報考古学会	
7	土居 里江	准教授		修士(音楽) 中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	主科レッスンⅠ～Ⅷ 第一専攻レッスンⅠ～Ⅷ 特別演奏法Ⅰ～Ⅳ 副科ピアノⅠ～Ⅷ	【演奏】 ・ソロリサイタル開催 ・声楽・器楽とのアンサンブル ・オーケストラとの共演(ピアノ協奏曲ソリスト) 【録音】 ・CLARINET REINVENTION クラリネット再発見 クラリネット：ティモシー・カーター、ピアノ：土居里江 (P)(C)2016FONTEC Inc. ・矢内直行歌曲集 ふるさとの詩人たち テノール：田中誠、ピアノ：土居里江 (P)(C)Wald2021 【紀要】 ・音楽コースで学ぶ高校生に向けた特別授業の実例報告 ～アクティブ・ラーニング形式による進路学習と音楽大学で培える力を考察する～ (くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第50巻第1号・第2号合併号、2017) ・19世紀にはじまったロシア音楽の独自性とその背景 ～ロシア音楽の歴史、宗教、文学の観点から～ (くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第54巻第1号、2021) ・多彩な音色を引き出すためのピアノ指導法～J.F.F.ブルクミュラー作曲18の練習曲作品109を用いて～ (くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第55巻第2号、2022)	くらしき作陽大学講師	全日本ピアノ指導者協会(PTNA) 日本演奏連盟 日本ピアノ教育連盟	第10回岡山芸術文化賞グランプリ 第49回ピティナ・ピアノコンペティション特別指導者賞

8	松田 基宏	講師	仏教文化研究 センター委員	真宗 僧侶資格 真宗 教師資格 真宗 (学階取得) 『准参業』	宗教（大乘仏教） 自校学（建学の精神） 創立者松田藤子の志 創立者松田藤子の教え	・真宗教学の立場から、浄土真宗宗祖親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』において、親鸞が真実の経典と定義された『大無量寿経』よりも、他経典『涅槃経等』を多く引用された、理由についての考察。 ・親鸞において、新教団設立の意志よりも、法然門下の僧侶の立場においての布教・伝道を重視した、「浄土宗教の特質」と親鸞教学の特異性についての考察。 ・親鸞主著『顕浄土真実教行証文類』作成の意図について。	岡山市臨時職員 （記念誌編纂室） 山陽新聞販売株式会社 宗教法人 寺院住職（正見寺） くらしき作陽大学（非常勤講師） くらしき作陽短期大学（講師） くらしき作陽大学（講師）	（宗門）真宗木辺学会	
9	アンナ・ オランスカヤ	講師			ロシア語I-VIII ロシア語演習I-VIII ロシア語会話I-VIII	アジア・太平洋地域出身文学部学生の聴き取り 教育法	プーシキンロシア語大学 くらしき作陽大学		
10	宇佐見 朋子	講師		学士（音楽）	専修実技 室内楽（金管） 合奏（金管） 管弦楽 吹奏楽 教育吹奏楽	文化庁芸術家派遣事業	山陽女子高等学校（現山陽学園高等学校）音楽科、岡山県作陽高校ミュージックコース非常勤講師	岡山トロンボーン協会副会長	

【くらしき作陽大学 食文化学部】 専任教員数22名									
■食マネジメント学科									
No.	氏名	職位	役職	学位(資格)	主な担当科目	主な研究業績	主な職歴	所属学会	賞罰等
1	木村 吉伸	教授	・学部長 (食文化学部) ・図書館長	農学修士 (九州大学) 1984 年 農学博士 (九州大学) 1987 年	化学基礎 (栄養) 化学基礎 (現食) 発酵食品論 食品機能論 生化学	1) 未来を創るグライコサイエンス-我が国のロードマップ- 生理活性糖鎖の機能性食品開発への応用 325-326 (2025) 木村吉伸 日本糖質科学コンソーシアム 2) PNGase activity and free N-glycans in phloem fluid prepared from <i>Nerium oleander</i> (oleander tree). Otaguro, F., *Kimura, Y., and Maeda M. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 89, 872-875 (2025). 3) Free N-glycans occurring in plant extracellular fluid or cytosol interact with an auxin, indole-3-acetic acid: Putative bio- function of free N-glycans in plants. Iguchi, Y., Horiguchi, A., Nakano. M., Maeda, M., Ishiwata, A., Ito, Y., and *Kimura, Y. <i>Plant Biotech.</i> , 42, 79-85 (2025). 4) 遊離型糖鎖のフォールディング誘導活性 木村吉伸 化学と生物 61, 64-77 (2023). 5) Structural features of free N-glycans in α1,3/4-fucosidase-deficient <i>Arabidopsis thaliana</i> : Deletion of α1,3/4-fucosidase activity induced accumulation of plant complex type GN1 free N-glycans. Takata, S., Hayashi, M., Maeda, M., Ishimizu, T., and *Kimura, Y. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 86, 1413-1416 (2022). 6) Construction of tomato plants with suppressed endo-β-N-acetylglucosaminidase activity using CRISPR-Cas9 mediated genome editing. Okamoto, N., Maeda, M., Yamamoto, C., Sugimoto, K., Shiozaki, T., Ezura, H., and *Kimura, Y. <i>Plant Physiol. Bio- chem.</i> , 190, 203-211 (2022). 7) Improved method for preparation and purification of recombinant α-synuclein: high-mannose-type free <i>N-glycan</i> prepared from an edible bean (<i>Vigna angularis</i> , Azuki bean) inhibits α-synuclein aggregation. Kosaka, S. Katsube, M., Maeda, M., and *Ki- mura, Y. <i>Biosci Biotechnol Biochem</i> 86:770-774 (2022) 8) Yamamoto, C., Ogura, M., Uemura, R., Maeda, M., Kajiura, H., Misaki, R., Fujiyama, K., and *Kimura, Y. Improved assay system for acidic peptide:N-glycanase (aPNGase) activity in plant extracts. <i>Anal. Biochem.</i> , 634, 114367 (2021) 9) Shirai, S., Uemura, R., Maeda, M., Kajiura, H., Misaki, R., Fujiyama, K., and *Kimura, Y. Direct evidence cytosolic PNGase activity in <i>Arabidopsis thaliana</i> : <i>in vitro</i> assay system for plant cPNGase activity. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 85, 1460- 1463 (2021). 10) Katsube, M., Ebara, N., Maeda, M., and *Kimura, Y. Cytosolic free N-glycans are retro-transported into the Endoplasmic re- ticulum in plant cells. <i>Front. Plant Sci.</i> doi: 10.3389/fpls.2020.610124. in press (2021) 11) Maeda, M., Okamoto, N., Araki, N., and *Kimura, Y. Purification, characterization, and gene expression of rice endo-b-N- acetylglucosaminidase, Endo-Os. <i>Front. Plant Sci.</i> doi: 10.3389/fpls.2021.647684 (2021) 12) Takeuchi, R., Maeda, M., Nakano., M., Funahashi, H., and *Kimura, Y. Large-scale preparation of sialyl-Tn antigen-containing peptides from mucin-like glycoproteins in boar seminal gel. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 85, 2022-2025 (2021). 13) Asaduzzaman, Md., Maeda, M., Matsui, T., Takasato, Y., Ito, K., and *Kimura, Y. Purification and molecular characterization of a truncated-type Ara h 1, a major peanut allergen: oligomer structure, antigenicity, and glycoform. <i>Glycoconj. J.</i> , 38, 67-76 (2021) 14) Kimura, M., Ogura, M., Akamatsu, M., Sugimoto, K., Maeda, M., Nitoda, T., Nakagawa-Fujimori, H., Yamashita, H., and Kimura, Y. Convenient preparation of an antigenic oligosaccharide from white kidney bean powder: A useful plant oligosaccharide for synthesis of immunoactive glycopolymer. <i>Int. J. Biol. Macromol.</i> , 153, 1016-1923 (2020). 15) Takeda, N., Maeda, M., Itano, S., Takase, M., Kimura, M., and *Kimura, Y. Synthesis and preliminary evaluation of neoglyco- polymers carrying multivalent N-glycopeptide units. <i>Int. J. Biol. Macromol.</i> , 147, 1294-1300 (2020) 16) Tsujimori, Y., Ogura, M., Rahman, M Z., Maeda, M., and *Kimura, Y. Plant complex type free N-glycans occur in tomato xylem sap. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 83, 1310-1314 (2019) 17) Uemura, R., Ogura, M., Matsumaru, C., Akiyama, T., Maeda, M., *Kimura, Y. Novel assay system for acidic Peptide:N-glycanase (aPNGase) activity in crude plant extract. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 82, 1172-1175 (2018) 18) Rahman, M Z., Tsujimori, Y., Maeda, M., Hossain, M A., Ishimizu, T., and *Kimura, Y. Molecular characterization of second tomato α1,3/4-fucosidase (a-Fuc' ase SI-2), a member of glycosyl hydrolase family 29 active toward the core α1,3-fucosyl residue in plant N-glycans. <i>J. Biochem.</i> , 164, 53-63 (2018) 19) Kato, S., Hayashi, M., Kitagawa, M., Kaajiura, H., Maeda, M., Kimura, Y., Igarashi, K., Kasahara, M., and Ishimizu, T. Deg- radation pathway of plant complex-type N-glycans: identification and characterization of a key α1,3-fucosidase from glyco- side hydrolase family 29. <i>Biochem. J.</i> , 475, 305-317 (2018). 20) Vavricka, C J., Muto, C., Hasunuma, T., Kimura, Y., Araki, M., Wu, Y., Gao, G F., Ohru, H., Izumi, M., Kiyota, H. Synthesis of sulfo-sialic acid analogues: potent neuraminidase inhibitors in R egards to anomeric functionality. <i>Sci. Rep.</i> 10.1038/s41598-017-07836-y (2017) 21) Osada, T., Maeda, M., Tanabe, C., Furuta, K., Vavricka, C J., Sasaki, J., Okano, M., and *Kimura, Y. Glycoform of a newly identified pollen allergen, Cha o 3, from <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Japanese cypress, Hinoki). <i>Carbohydr. Res.</i> 448, 18-23 (2017) 22) Tanabe, C., Furuta, K., Maeda, M., and *Kimura, Y., Structural feature of N-glycans of bamboo shoot glycoproteins: useful source of plant antigenic N-glycans. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 81, 1405-1408 (2017) 23) Rahman, M Z., Maeda, M., Itano, S., Hossain, M A., Ishimizu, T., and *Kimura, Y. Molecular characterization of tomato α1,3/4-fucosidase, a member of glycosyl hydrolase family 29 involved in the degradation of plant complex type N-glycans. <i>J. Biochem.</i> , 161, 421-432 (2017) 24) Maeda, M., Ebara, N., Tani, M., Vavricka, C J., and *Kimura, Y. Occurrence of complex type free N-glycans with a single Glc- NAc residue at the reducing termini in the fresh-water plant, <i>Egeria densa</i> . <i>Glycoconj. J.</i> , 34, 229-240 (2017) 25) Maeda, M., Tani, M., Yoshiie, T., Vavricka, C j., and *Kimura, Y. Structural features of N-glycans linked to glycoproteins expressed in three kinds of water plants: Predominant occurrence of the plant complex type N-glycans bearing Lewis a epitope. <i>Carbohydr. Res.</i> , 435, 50-57 (2016) 26) Hashiba, K., Nio-Kobayashi, J., Sano, M., Maeda, M., Kimura, Y., Yamamoto, Y., Kimura, K., and Okuda, K. Possible contribu- tion of alpha2,6-sialylation to luteolysis in cows by inhibiting the luteotropic effects of galectin-1. <i>Biol. Repro.</i> , 95, 10.1095/biolreprod.116.140194 (2016) 27) Rahman, M Z., Fujishige, M., Maeda, M., and *Kimura, Y. Rice α-fucosidase active against plant complex type N-glycans con- taining Lewis a epitope: purification and characterization. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 80, 291-294 (2016) 28) Hossain, M A., Roslan, H A., Karim, M R., Kimura, Y., Molecular phylogeny, 3D-structural insights, docking and mechanisms of action of plant beta-galactosidases. <i>Int. J. BioInfo. Res. Appli</i> 12, 149-179 (2016) 29) Rahman, M Z., Fujishige, M., Maeda, M., and *Kimura, Y. β-Galactosidase from Ginkgo biloba seeds active against β-galac- tose-containing N-glycans: purification and characterization. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 79, 1464-1472 (2015) 30) Yamamoto-Hino, M., Yoshida, H., Ichimiya, T., Sakamura, S., Maeda, M., Kimutra, Y., Sasaki, N., Aoki-Kinoshita, K F., Ki- noshita-Toyoda, A., Toyoda, H., Ueda, R., Nishihara, S., and Goto, S. Phenotype-based clustering of glycosylation-related genes by RNAi-mediated gene silencing. <i>Genes to Cells</i> 20, 521-542 (2015). 31) Ichimiya, T., Maeda, M., Sakamura, S., Kanazawa, M., Nishihara, S., and *Kimura, Y. Identification of β1,3-galactosyltrans- ferases responsible for biosynthesis of insect complex-type N-glycans containing a T-antigen unit in the honeybee. <i>Glycoconj. J.</i> , 32, 141-151 (2015)	・岡山大学 農学部 助手 (1987 年 7 月) ・岡山大学 農学部 助教授 (1992 年 8 月) ・岡山大学 農学部 教授 (2003 年 10 月) ・岡山大学大学院 自然科学研究科 教授 (2005 年 4 月) ・岡山大学大学院 環境生命科学研究所 教授 (2012 年 4 月) ・岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域 教授 (2021 年 4 月 ～ 2023 年 3 月) ・岡山大学 農学部長 (2019 年 4 月～ 2023 年 3 月) この間, ・アメリカ合衆国 国立衛生 研究所 (NIH) 客員研究員 (1992 年～1993 年) ・スイス連邦共和国 フリードリッヒ・ミーシャ 研究所 文部省在外研究員 (1997 年) ・マレーシア プトラ大学 バイオ テクノロジー学科拡充計画 JICA 専門指導員 (2000 年) ・英国オックスフォード大学 糖鎖生物学研究所 文科省 在外研究員 (2002 年) ・岡山大学 農学部 副学部長 (2011 年 4 月 ～2019 年 3 月)) ・岡山大学 附属図書館 副図書館長 (2017 年 4 月 ～2019 年 3 月) ・大阪大学 生物工学国際交 流センター 招聘教授 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)	・日本農芸化学会 ・日本生化学会 ・日本糖質学会	・日本農芸化学会 奨励賞 (1998 年 3 月) ・日本農芸化学会 Biosci. Biotechnol. Biochem. 論文賞 (1998 年 3 月) ・日本学術振興会 科研費審査員表彰 (2013 年 10 月) ・日本農芸化学会 中四国支部 功労賞 (2022 年 9 月)

2	川口 洋	教授	現マネジメント学科長	博士（農学）	栄養生化学 栄養生理・生化学実験 発酵食品論 地産地消実習	（著書） ・第2版 食品学実験・実習－食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全－ 青山社（2019） ・食品学実験・実習－食品分析・食品加工・食品鑑別・食の安全－ 青山社（2015） ・Nブックス実験シリーズ生化学実験 建帛社（2009） ・食品学実験・実習－基礎から応用まで 青山社（2007） ・食品衛生実験マニュアル 大学教育出版（1999） （原著論文、紀要など） ・くらしき作陽大学がめざす一次予防に基づいた栄養教育及び社会貢献の展開 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要、 52 (2)、17-34（2019） ・くらしき作陽大学における一次予防推進のための活動 くらしき作陽大学一次予防ワーキンググループ中間報告 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要、 51 (2)、129-140（2018） ・中学生・高校生における不定愁訴の発現から見た生活条件 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要、 43 (1)、23-43（2010） ・高校生の生活習慣と不定愁訴の発現・食物摂取頻度・躁うつ傾向との関わり くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要、 42 (1)、43-78（2009） ・Structure and function of fibrinolytic enzyme from <i>Bacillus subtilis</i> natto The Third International Soybean Processing and Utilization Confirence Proceedings, 232-233（2000） ・Purification and characterization of 3- isopropylmalate dehydrogenase from <i>Thiobacillus thiooxidans</i> <i>J. Biosci. Bioeng.</i> 90 , 459-461（2000） ・Structure of 3-isopropylmalate dehydrogenase in complex with 3- isopropylmalate at 2.0 Å resolution: the role of Glu88 in the unique substrate recognition mechanism <i>Structure</i> 6 , 971-982（1998） ・Overproduction and substrate specificity of 3-isopropylmalate dehydrogenase from <i>Thiobacillus ferrooxidans</i> <i>Biosci. Biotech. Biochem.</i> 62 , 372-373（1998） ・3-Isopropylmalate dehydrogenase from chemolithoautotroph <i>Thibacillus ferrooxidans</i> : DNA sequence, enzyme purification, and characterization <i>J. Biochem.</i> 114 , 370.377（1993）	岡山大学ティーチング アシスタント 岡山大学資源生物科学 研究所助手 くらしき作陽大学 食文化学部講師 くらしき作陽大学 食文化学部助教 くらしき作陽大学 食文化学部教授 （現在に至る）	日本農芸化学会	岡山県栄養士養成施設協議会会長表彰（栄養士養成教育） 全国栄養士養成施設協会会長表彰 岡山県保健福祉部長表彰（栄養士養成）
3	河田 いづる	教授	全学教職課程運営 営部会部長 教員養成向上部 会部会長	修士（教育学） 中学校教諭専修免許状（家庭） 高等学校教諭専 修免許状（家庭）	家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 生徒・進路指導論 教育実習指導 教育実習 教職実践演習 教育活動実践演習 家庭経営学 家族関係学 被服学概論 被服実習Ⅰ・Ⅱ 教師力養成セミナー 家庭Ⅰ	・職業教育と進路事情－バイエルン州ミュンヘン市（ドイツの教育）－ ・豊かな心をはぐくむ教育活動の展開－働く力を支える健康づくり－ ・発達障害のある高校生への就労支援 ・社会的・職業的自立に必要な力を育てるための授業の在り方－キャリア教育の視点に立った共通教科における指導－ ・家庭科教員養成における実践力向上のための取り組み（くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要 第57巻 第2号）	岡山県立高等学校教諭 岡山県立高等学校教頭 岡山県立高等学校副校長 岡山県立高等支援学校長 岡山県立高等学校長 岡山県高等学校家庭科教育協会副理事長 岡山県高等学校教育研究会家庭部会副部会長 岡山県高等学校福祉教育協会理事長	日本家庭科教育学会 日本NIE学会	御下賜金産業教育功労者表彰(2018) 産業教育 140 年記念産業教育功労者表彰(2024) くらしき作陽大学ティーチングアワード表彰（2024）
4	河野 勇人	教授	商品開発交流研究センター長	博士（工学） 経営修士 技術士	食品学Ⅰ・Ⅱ 食品保蔵科学 食品学実験 基礎実験 商品開発実習Ⅰ・Ⅱ 商品開発論Ⅱ 商品企画開発演習	（論文） 地域特産品開発を目的とした酵母の分離（中国学園大学紀要、17、83（2018）） 市販きのこの血栓溶解活性（中国学園大学紀要、18、55（2019）） 文化財施設から分離した酵母を用いた特産品の開発（中国学園大学紀要、19、85（2020）） 原料米処理温度の相違による製麴（くらしき作陽大学紀要、57、1(2024)） 原料米処理温度の相違による効果的な紅麴の製麴（くらしき作陽大学紀要（2025）） （書籍） 三訂マスター食品学Ⅱ、建帛社（2021）共著 食品学Ⅰ、学文社（2024）、共著 食品学Ⅱ、学文社（2024）、共著 （発表会） 第29回岡山リサーチパーク研究展示発表会「県内産米粉を活用した食品開発」（2024）	岡山県（工業技術センター） 中国学園大学現代生活学部教授 くらしき作陽大学食文化学部教授 （現在に至る）	日本食品科学工学会 日本醸造学会 産学連携学会	岡山市大学生まちづくりチャレンジ事業 政策局長賞（2019） 岡山市学生イノベーションチャレンジ推進事業準グランプリ（2020）

5	仲 克己	教授	キャリア支援 委員会委員 管理栄養士国 家試験対策委 員会（卒業生 対象） 委員	博士（医学）（岡山大学）	食品衛生学（栄養学科、現代食文化学科） 食品衛生学実験（栄養学科、現代食文化学科） 栄養学演習、総合演習（栄養学科、現代食文化学科）、卒業研究	1 著書 （1）食べ物と健康 食品の安全と衛生管理 医歯 薬 出版株式会社 共著 （2）食品衛生学実験 株式会社 建帛社 共著 （3）くらしき作陽大学食文化学部 ５００Ｋｃ a l 台のバランスメニューvol.2 2 論文 （1）日本国内における市販キャットフードのサルモネラ属菌検出調査 ペット栄養学会誌、25（1）、1ー4、2022 （2）日本国内における市販イヌ用ウエットフードのサルモネラ属菌検出調査 ペット栄養学雑誌、24（1）、22ー26、2021 （3）日本における犬用ドライフードからのサルモネラ属菌検出状況調査 ペット栄養学会誌、21（1）、27ー31、2018 （4）感染症予防対策に向けたヒト及び環境等における感染症起因菌の調査①志賀毒素産生性大腸菌の疫学調査 岡山県環境保健センター年報、40、2016、51ー56 （5）感染症予防対策に向けたヒト及び環境等における感染症起因菌の調査①志賀毒素産 生性 大腸菌の疫学解析、岡山県環境保健センター年 報、39、2015、99ー101 （6）感染症予防対策に向けたヒト及び環境等における感染症起因菌の調査②県内の環境 検体 におけるレジオネラの検出状況 岡山県環境保 健センター年報、39、2015、103ー107 （7）感染症予防に向けたヒト及び環境等における 感染症起因菌の調査①志賀毒素 産生 性 大 腸菌の疫学的解析、岡山県環境保健センター年 報、Vol.39、99-101、2014（共 著） （8）感染症予防対策に向けたヒト及び環境等における感染症起因菌の調査、岡山 県環 境保 健センター年報、38、49ー54、2013（共 著） 3 講演等（1）日本におけるネコ用フードへのサルモネラ属菌混入に関する実態調査 令和5年度獣医学術中国地区学会 （2）日本におけるイヌ用フードへのサルモネラ属菌混入に関する実態調査 令和4年度(第55回)岡山県獣医公衆衛生学会 （3）日本におけるイヌ用フードへのサルモネラ属菌混入に関する実態調査 令和4年度獣医学術中国地区学会（公衆衛生） （4）令和5年度中堅教諭資質向上研修（栄養教諭）講座における講義・演習 （5）令和6年度中堅教諭資質向上研修（栄養教諭）講座における講義・演習 （6）令和4年度中堅研修（栄養教諭）衛生管理上の課題と解決に向けた取組、大量調理における衛生管理 （7）令和3年度 第75回 日本栄養・食糧学会大会、市販ニンニクの抗菌活性 （8）令和3年度 中堅研修（栄教）衛生管理上の課題と解決に向けた取組、大量調理における衛生管理（B＆S研修） （9）令和2年度 中堅研修（栄教） 衛生管理上の課題、大量調理における衛生管理（B＆S研修） （10）令和元年 岡山県経験年数別研修講座（新規採用研修・中堅教諭用資質向上研修） （11）平成30年 岡山県経験年数別研修講座（新規採用研修・中堅教諭用資質向上研修） （12）平成29年度 給食施設従事者研修会 岡山 県備前保健所 （13）平成29年度 岡山県経験年数研修講座（経験10年、新規採用教員等） 平成28年度 学校給食における喫緊の課題 衛生管理と異物混入対策について 第60回岡山県学校給食研究協議大会	岡山県農業共済組合連合会岡山北部家畜診療所等 岡山県岡山環境保健所食品保健課 倉敷保健所健康福祉部衛生課 岡山市保健福祉局保健所衛生課食品衛生係長 平成14年から現職		
6	松田 光恵	教授	学長補佐 学生・学修支 援委員長 全学教務委員 長	修士（文学）	実践コミュニケーション 育スパート入門 育スパート総合 インターンシップ(総社) ゼミナール 卒業研究	論文（共著） ①社会的現実を作るメディアトークーニュース報道の共鳴化ー ②ワイドショーの構造分析ー形式の概念化とスタジオトークとの関連性ー ③ソーシャルネットワークキング・サービスの利用に関する調査ーmixi ユーザの意識と行動ー ④ペット意識尺度の再検討の試みーペットブームを支えるペット意識の構造ー ⑤テレビ CM における動物描写の内容分析 ⑥自己意識が対人関係能力の向上に及ぼす影響 ⑦目的を明確化にしたボランティア活動が就業力に及ぼす影響 ⑧絵本に描かれる死の表現ー幼児向け絵本の内容分析からー 論文（単著） ①地域密着型電子掲示板に関する研究 ②人とコンパニオン・アニマルに関する文献レビューー犬との関係を視野にいれてー ③ペットロスに関する電子掲示板分析 ④ペットは家族とみなせるか（1）ー家族概念と主観的家族についての検討ー ペットは家族とみなせるか（2）ー飼育経験の有無が与える影響ー” ⑤壮年期世代のペット喪失感情について（1）ー飼い主の語りの探索的分析 回顧を中心にー 壮年期世代のペット喪失感情について（2）ー喪失からの人格的成長、こころの再建についてー翻訳（共同） 〔翻訳〕 ①「アート・ワールド」（第2章担当），ハワード・S・ベッカー著 報告書（共著） ①インターネット社会におけるスキャンダルーメディアと共鳴する対人コミュニケーションー	（株）ハミングバード勤務 （株）トイズファクトリー勤務 （株）エイベックス勤務 （株）あたらす 21 パソコンスクール講師 くらしき作陽大学食文化学部非常勤講師 くらしき作陽大学子ども教育学部准教授 くらしき作陽大学食文化学部食マネジメント学科教授	日本心理学会 日本社会心理学会 ヒトと動物の関係学会	

7	佐藤 紀代美	准教授		家政学修士 博士（薬学） 管理栄養士 製菓衛生師 中学校教諭専修免許状（家庭） 高等学校教諭専修免許状（家庭）	調理学 調理学実習Ⅰ、Ⅱ 栄養学実習Ⅰ	（著書） ・調理学－食品の調理特性を正しく理解するために－/化学同人（2017）（共著） ・くらしき作陽大学食文化学部 500kcal 台のバランスメニューvol.3/株式会社ハローズ(2018)（共著） ・くらしき作陽大学食文化学部 500kcal 台のバランスメニューvol.2/株式会社ハローズ(2017)（共著） ・日本の伝統食品事典（日本伝統食品研究会編）/朝倉書店（2007）（分担執筆） （論文） ・高純度ドコサヘキサエン酸含有飼料投与による鶏卵卵黄脂質組成の変化：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第 55 号第 1 号、3-15（2022）（共著） ・高純度ドコサヘキサエン酸含有飼料投与による鶏卵の嗜好性及び調理的特性の変化：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第 55 号第 1 号、17-30（2022）（共著） ・スピルリナの一般食品への利用に関する一考察（1）：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第 51 巻第 2 号、85-92（2019）（共著） ・隠す食文化：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第 45 号第 2 号、53-60（2012）（共著） ・日本およびタイの大学生における食習慣、運動習慣に関する調査：日本健康体力栄養学会誌 Vol.12, NO.1, 13-19（2007）（筆頭著者） ・Survey on Body Stature and Body Habitus among University Students in Japan and Thailand：Japanese Bulletin of Health, Fitness and Nutrition,11,(1),3-14(2006)（共著） ・Survey on Meal Habit, Hours of Sleep and Exercise Habit of University Student in Japan and Thailand：Japanese Bulletin of Health, Fitness and Nutrition,11,(1),15-22(2006)（共著）	大阪薫英女子短期大学助手	日本食生活学会 日本調理科学会 日本栄養改善学会	くらしき作陽大学 ティーチャングアワード受賞 2020 岡山県栄養士養成施設協議会会長表彰（栄養士養成功労）
8	影山 智絵	講師	学生募集 広報委員長	修士(学術) 管理栄養士 公認スポーツ 栄養士	栄養学各論 栄養学実習Ⅱ スポーツ栄養学 スポーツフード実習 運動生理学 健康増進実践演習	（著書） 栄養管理と生命科学シリーズ 応用栄養学 理工図書(株),2020(共著) （論文） 中学生男子ソフトテニス部員における練習時の水分補給状況と生理的指標の変化,山陽学園紀要, 第 24 巻,133-140,2018(共著) 大学生陸上競技選手における栄養状態の 評価,美作大学紀要,(52),91-100,2019 (筆頭著者) くらしき作陽大学がめざす一次予防に基づいた栄養教育及び社会貢献の展開,くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要,第 52 巻第 2 号(通巻第 93 巻),17-34,2019(共著) 大学生男子水泳選手に対する栄養・食事指導による介入が食生活の自己管理能力に及ぼす影響,くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要,第 53 巻第 2 号(通巻第 95 巻), 23-36,2020(単著)	中国学園大学 助手、 助教、美作大学 助手 2021 年～ 倉敷市スポーツ医・科学 支援事業 栄養サポート講師	日本スポーツ栄養 学会 児童教育学会 岡山スポーツ医科学 研究会	第43回岡山スポーツ医科学 研究会会賞受賞(2019)
9	新田 和子	講師		修士（臨床栄養学） 管理栄養士 健康運動指導士 NST 専門療法士 在宅栄養専門管理栄養士 在宅訪問管理栄養士 おかやま糖尿病サポーター	臨床栄養学概論 臨床栄養学各論 臨床栄養学実習 給食管理論 給食管理実習 給食管理校外実習 校外実習総合演習 災害食計画論 給食計画論実習 ヘルスマネジメント 実習	（著書） ・ハローズ創立 6.5 周年 1 次予防に役立つ 500kcal 台のバランスメニュー特別号 監修 ・くらしき作陽大学 500kcal 台のバランスメニューカード （学会発表）（2023 年、2024 年、2025 年） ・日本在宅栄養管理学会 ・認知症グループホーム介護職員への栄養教育が入所者の栄養状態に及ぼす効果 （学会誌 vol10, No1.116） ・認知症グループホーム介護職員への栄養教育のあり方に関する検討 （学会誌 vol11, No1.93） ・認知症グループホーム介護職員への栄養教育効果の検討 （学会誌 vol12, No1.97） （紀要） さくようヘルスケアレストランを用いた地域貢献活動 くらしき作陽大学・短期大学研究紀要第 57 巻第 2 号 2024 年（P115～125）共著	1988 年～2020 年 倉敷医療生活協同組合	日本栄養士会 JSPEN 日本栄養治療学会 日本在宅栄養管理学会	日本栄養士会会長賞 倉敷市保健福祉功労賞
10	藤澤 克彦	講師	全学教務委員会委員 地域・学校連携委員会委員長 学部教務委員会副委員長	修士（栄養学） 管理栄養士	栄養指導論Ⅰ・Ⅱ 栄養指導実習Ⅰ・Ⅱ 子育てと栄養 食育企画演習 食育実践演習	（著書） ・栄養教育論〈ステップアップ栄養・健康科学シリーズ〉/株式会社化学同人（2020）（共著） ・栄養教育・指導実習ワークブック（第 3 版）/株式会社みらい（2020）（共著） （論文） ・結婚願望及び出産願望に与える要因の検討（第 1 報）、くらしき作陽大学 作陽短期大学研究紀要、53(2)、 pp.93-97 ・若年女性の痩せおよび痩せ願望改善のための栄養教育法の提案、岡山学院大学・岡山短期大学紀要、34、 pp.25-33	武庫川女子大学 生活環境学部 助手 岡山学院大学 人間生活学部 助教 岡山学院大学 人間生活学部 講師 京都光華女子大学 健康科学部 講師	日本栄養改善学会 栄養栄養・食糧学会	くらしき作陽大学 ティーチャングアワード受賞 2023
11	白 黎明	助教		修士（商学）	中国語会話 日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 日本語中級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 日本語上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	修士論文：East Asia Regional Integration and Cooperation under the Globalization	2008.4～2018.3 学校法人作陽学園 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 事務職員 2018.4 より 現職		

■栄養学科										
No.	氏名	職位	役職	学位(資格)	主な担当科目	主な研究業績	主な職歴	所属学会	賞罰等	
12	松田 英毅	教授	・ 総長 ・ 学長	理学博士 中学校教諭一級(理科) 中学校教諭二級(数学) 高等学校教諭一級・二級(理科)		・ 科学文明を生きる人間（著書） ・ 放射線測定（物理測定技術6）（著書） ・ 自然の流れに逆らう文明（著書） ・ 大道を生きる―安定した人口の国づくりのために―（著書） ・ Beryllium-7 in rain water from Fukuoka Memoires of the Faculty of Science, Kyushu Univ., Series Chem. Vol.5 （論文） ・ Applications of neutron activation method for ⁵³ Mn in meteoritic iron Earth and Planetary Science Letters Vol.6No.2（論文） ・ Some stable and long-lived nuclides pdroduced by spallation Meterite Research（論文） ・ Some cosmic ray produced radioactivities in the Notron County achondrite and the Peace River Chondrite Geochemical Journal, vol2（論文） ・ Low background Counter for the measurement of ultra low radioactive materials Memoires of the Faculty of Science, Kyusyu Univ., series C, Vol7, No.1（論文） ・ ³⁶ Cl in iron meteorites Geochemical Journal, Vol4, No.2（論文） ・ 金属イオンのゲルクロマグラフィー 分析器機8巻7号（論文） ・ ⁵³ Mn Produced by 730MeV Proton Bombardment of Iron Radiochemica Acta Vol.15, No.1（論文） ・ Distribution of uranium and thorium among components of some chondrites Geochemical Journal Vol.6（論文） ・ Determination of trace amounts of uranium in silicate minerals by the fission track technique Talanta Vol.19（論文） ・ 光核反応による ⁵³ Mnの調整 作陽学園学術研究会「研究紀要」第6巻第1号（論文） ・ 津山市を中心にした吉井川の水質に関する基礎的研究第1報 作陽学園学術研究会「研究紀要」第7巻第1号（論文） ・ 津山市を中心にした吉井川の水質に関する基礎的研究第2報 作陽学園学術研究会「研究紀要」第9巻第1号（論文） ・ 実験放射化学（Radiochemical Techmiques）（その他 翻訳） ・ ダフィー無機化学（初版）（General Inorganic Chemistry）by J.A. Duffy（その他 翻訳）	学校法人作陽学園理事長・学園長 くらしき作陽大学・作陽短期大学学長 くらしき作陽大学附属認定こども園園長 社会福祉法人作陽保育園理事長 社会福祉法人旭川荘理事・評議員 財団法人倉敷市文化振興財団理事長 モスクワ音楽院名誉教授 など	真宗保育学会 など	紺綬褒章 山陽新聞賞(教育功労) 特別文化功労章（ロシア連邦文化情報大臣より） ロシア名誉賓客賞(ロシア連邦大統領府勲章局より) チャイコフスキー財団名誉会員賞 旭日中綬章 倉敷市文化章 岡山県三木記念賞 など	
13	小上 和香	准教授	栄養学科長	修士(臨床栄養学) 管理栄養士	栄養教育論Ⅰ・Ⅱ 栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ 臨床栄養学臨地実習 管理栄養士入門 総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 栄養学演習 食活人キャリアⅠ・Ⅱ・Ⅴ 食活人地域フィールドワーク 卒業研究 栄養教育実習 子どもの食と栄養	[著書] ・ 栄養教育・指導実習ワークブック第4版 株式会社みらい 2025（共著） ・ 栄養教育論-栄養の指導-第23版 学健書院 2024（共著） ・ 問題思考型栄養教育論 ver. 4 管栄出版 2015（共著） ・ 2011 年管理栄養士国家試験合格 ONO 受かるタ メディカ出版 2010（共著） [論文] ・ Long-term effects of a 30% hepatectomy on serum biochemistry and longevity in male adult rats. Kawasaki Journal of Medical Welfare7(2)：1-6, 2001（筆頭著者） ・ Age-related Serum Lipids And Longevity in Hepatectomized Rats. Kawasaki Journal of Medical Welfare8(1)：1-4, 2002（共著） ・ Effect of Dietary Restriction on Survival Rate and Serum Biochemical Parameters in Hepatectomized Rats. Kawasaki Journal of Medical Welfare9(2)：45-48, 2003(筆頭著者) ・ 体脂肪率の季節変動とその性差および地域差 くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第38 巻第2 号 pp51-63(2005) (共著) ・ 若年女性の身体意識と体脂肪率および栄養摂取量との関係からみた栄養教育の方向性に関する一考察 くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第39 巻第2 号 pp1-19(2006) (共著) ・ 保護者の就労状況および行動変容の準備性が子どもの食生活に与える影響 くらしき作陽大学作陽音楽短期大学研究紀要 49 巻第2 号 pp51-59（2016）（筆頭著者） ・ 児童における ICT を活用した栄養教育の実践 日本幼小児健康教育学会誌第4 巻第1 号 pp19-24(2018)（共著） ・ くらしき作陽大学における一次予防推進のための活動 ―くらしき作陽大学一次予防ワーキンググループ中間報告―くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第51 巻第2 号 pp129-140（2018）（共著） ・ 大学生の食育 SAT システムを用いたカルシウム摂取の意識向上について くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 研究紀要 第52 巻第1 号 pp49-60（2019）（共著） ・ くらしき作陽大学がめざす一次予防に基づいた栄養教育及び社会貢献の展開 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 研究紀要 第52 巻第2 号 pp17-34（2019）（共著） ・ 夜遅い食事とエネルギー・栄養素摂取量、食品群別摂取量との関連 くらしき作陽大学作陽短期大学研究紀要第54 巻第1 号 pp35-42（2021）（共著） ・ 汁ものにおける塩分量・塩分濃度の変化 川崎医療福祉学会誌 32 巻1 号 pp 165-170（2022）（共著） ・ 現代医学教育博物館における解剖生理学学外実習の導入と管理栄養士課程で期待される教育効果 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第57 巻第1 号 pp33-37（2024）（共著） ・ 現代医学教育博物館における学外解剖生理学実習の現状と動物解剖の代替実習としての可能性 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第57 巻第2 号 pp95-102（2024）（共著） ・ 催事で食品を提供する模擬店の衛生管理と商品開発に関する取り組み くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第57 巻第2 号 pp127-139（2024）（共著）	くらしき作陽大学 助手 くらしき作陽大学 講師	日本栄養改善学会 日本栄養食糧学会 日本栄養学教育学会日本スポーツ栄養学会	岡山県栄養士養成施設協議会会長表彰 （栄養士養成功労）	

14	網中 雅仁	教授		博士（医学） 衛生管理者Ⅰ種 衛生工学衛生管理者 衛生学エキスパート	公衆衛生学 健康情報管理学 健康情報管理実習Ⅰ，Ⅱ 微生物学 生物学基礎 栄養学演習 総合演習	1. Oxidative stress in mature rat testis and its developmental changes. Dev Growth Differ. 2010; 52, 657-663. 2. シックハウス症候群による心理ストレス尺度と心理ストレスマーカー，酸化ストレスマーカーの変化と関連性. 日未病システム会誌 2011; 16, 355-357. 3. Effectiveness of serum megakaryocyte potentiating factor in evaluating the effects of chrysotile and its heated products on respiratory organs. Toxicol. Appl. Pharmacol. 2011; 252, 123-129. 4. ラット気管内一回投与によるクリソタイルとアモサイトとその焼成品の酸化ストレスに関する研究. 臨床環境医学. 2011; 20, 131-140. 5. 遺伝性ポルフィリン症の生化学診断法および診断基準案の作成. ALA-Porphyrin Science 2012; 1, 33-43. アスベストの無害化処理物の安全性および将来への展望. 臨床環境医学. 2013 ; 22, 25-35. 6. 赤芽球 5-アミノレブリン酸合成酵素の異常とポルフィリン代謝. ALA-Porphyrin Science 2013; 2, 19-26. 7. アスベストの焼成無害化処理の安全性；アスベストの焼成無害化処理物の安全性評価に関する最近の知見. 繊維状物質研究. 2014; 1. 23-25. 8. 生活環境因子による酸化ストレスからの健康影響とその評価、予防に関する研究. 臨床環境医学. 2014; 1. 25-33. 9. 健常者における尿中ポルフィリン濃度の日内変動に関する研究 ―遺伝性ポルフィリン症の難病指定による基準値の検討―くらしき 作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要. 2016 ; 49, 45-50. 10. 管理栄養士養成課程に学ぶ大学1年生の基礎学力と公衆衛生学分野の習得度との関連性. くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 研究紀要. 2016;48, 67-71. 11 社会福祉協議会の認知度向上に関する提言. くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要. 2017;49, 1-6. 12. くらしき作陽大学における一次予防推進のための活動 くらしき作陽大学一次予防ワーキンググループ（中間報告）. くらしき 作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要. 2018; 51, 129-140. 13. くらしき作陽大学がめざす一次予防に基づいた栄養教育及び社会貢献の展開. くらしき 作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要. 2019; 52, 17-34. 14. アルカリ性電解水を用いた含嗽による口腔内環境の改善効果について. 日本口腔機能水学会誌. 2023;1, 40. 15. Mesothelioma carcinogenesis of chrysotile and forsterite compared and validated by intraperitoneal injection in rat. 2024;DOI https://doi.org/10.2486/indhealth.2024-05 16. 第32回 日本臨床環境医学会学術集会を終えて 臨床環境医学. 2024;33. 17-19. （他 35 論文）	聖マリアンナ医科大学医学部講師、非常勤講師 鎌倉女子大学家政学部非常勤講師 北里大学大学院医療系研究科客員研究員 上智学院聖母看護学校非常勤講師 岡山学院大学人間生活学部非常教授	日本臨床環境医学会 日本公衆衛生学会 日本産業衛生学会 日本衛生学会、 日本口腔機能水学会 ポルフィリン-ALA 学会	第 36 回日本肝臓学会東部会奨励賞 第 22 回日本臨床環境医学会総会会長賞 日本産業衛生学会関東地方会感謝状
15	伊藤 恵子	教授		博士（医学） 医師	病理病態学 病態生化学 医学概論	・Cervical Carcinoma with Full Thickness Stromal Invasion: Relationship Between Tumor Size on T2-Weighted Images and Parametrial Involvement Journal of Computer Assisted Tomography26(1), 119-125, 2002 ・学校保健と地域の連携～小山町の実践に学ぶ連携・協働の重要性～，第 23 回岡山県保健福祉学会（おかやま保健福祉研究），72～75，岡山県保健福祉部保健福祉課，2017 年 1 月 ・学校保健と地域の連携～地域保健事業への参入から見えてきたもの～，第 25 回岡山県保健福祉学会（おかやま保健福祉研究），81～84，岡山県保健福祉部保健福祉課，2018 年 12 月 ・包括的健康教育の指導者養成の理論と実践，大学教育出版，2024 年 3 月（共著）	倉敷廣済病院	日本医学放射線学会 日本学校保健学会 日本公衆衛生学会	
16	西村 美津子	准教授	食文化学部教務委員長 食文化学部学生募集広報委員長 臨地・校外実習専門部会長	修士（栄養学） 管理栄養士	調理学 応用栄養学Ⅰ 調理学実習Ⅰ，Ⅱ 公衆栄養学臨地実習 管理栄養士入門Ⅰ，Ⅱ 子どもの食と栄養 総合演習Ⅰ～Ⅳ 栄養学演習 卒業研究	【論文】 1. 栄養士養成課程の学生における献立作成能力と食事バランスの関連―食事バランスガイドを用いて―単著 2010 年 日本食生活学会誌 21 2. 高齢入所患者の電解質異常と栄養状態の関連 単著 2014 年 徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻 3. 乳幼児期の保育所給食体験と食嗜好の関連―肉類・魚類の嗜好の違い― 共著 2015 年 安田女子大学紀要 44 4. 食品重量の目測と食事調査法（写真法）との関連 共著 2018 年 安田女子大学紀要 46 5. 学校教育における献立作成に関する研究 共著 2018 年 安田女子大学紀要 46 6. 食品重量の目測と食事調査法（写真法）との関連 第 2 報 共著 2019 年 安田女子大学紀要 47 7. 女子大学生の栄養バランスに配慮した食生活の実践と栄養素・食品群別摂取量との関連，共著 2020 年くらしき作陽大学 作陽短期大学 研究紀要，53-1 8. 夜遅い食事とエネルギー・栄養素摂取量，食品群別摂取量との関連，共著 2021 年くらしき作陽大学 作陽短期大学 研究紀要，54	岡山県保健所 岡山県立岡山病院 山陽学園短期大学食物栄養学科 専任講師 安田女子大学家政学部管理栄養学科 専任講師	日本栄養改善学会 日本公衆衛生学会 日本家政学会 日本咀嚼学会 日本食育学会 日本調理科学会	

17	柳井 玲子	教授		博士（健康科学） 管理栄養士	公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ 公衆栄養学実習 公衆栄養学臨地実習 総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 管理栄養士入門 栄養学演習	(著書)・「N ブックス 五訂公衆栄養学」共著、建帛社、 2017. 以降改訂版執筆「N ブックス六訂公衆栄養学（第3版）共著、建帛社、2024 ・「NEW 公衆栄養学」共著、同文書院、2003 ・「管理栄養士国家試験問題と詳細」共著、メディカ出版、2007 年版～2011 年年版毎年 (論文) ・ 本学 of 管理栄養士課程における食物アレルギーに対する知識水準、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要, 56(2), 2023（共著） ・大学生の食育 SAT システムを用いたカルシウム摂取の意識向上について、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要, 52(1), 2019（共著） ・地区輪番制の食生活改善推進員活動が推進員自身にもたらす影響、くらしき作陽大学・作陽音楽短期 大学研究紀要 , 51(1), 2018.（単著） ・.Validity of Dietary Surveys in Physically Active Japanese Male Students, Kawasaki Journal of Medical Welfare, 13(2), 95-106, 2008.（筆頭著者） ・活動的な女子学生が日本型食事を摂取した際の食事摂取量の選択的過小評価 川崎医療福祉 学会誌 16(2)281-290, 2006.（筆頭著者） ・若年男女における食事量の過小・過大評価 と身体的、心理的要因および生活習慣との関係、川崎医療 福祉学会誌 16(1)109-119, 2006.（筆頭著者） ・黒豆煮汁の機能性解析とヒト試験 ,New Food 46(9), 2004. 2004.（共著） (学会発表)・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下の自宅待機が女子学生の食生活に及ぼした影響について、第 68 回日本栄養改善学会、2021 他	岡山県保健所管理栄養士 順正短期大学非常勤講師 岡山学院大学講師・准教授	日本栄養改善学会 日本公衆衛生学会 日本食生活学会	岡山県栄養士養成施設協議会会長表彰（栄養士養成） 岡山県保健福祉部長表彰（栄養士養成）
18	松本 隆行	准教授	情報システム 委員長	博士（理学）	キャンパスライフデザインⅠ・Ⅱ ITリテラシー基礎 情報処理 食統計学 健康情報実習Ⅰ・Ⅱ 管理栄養士入門 仕事で役立つパソコン活用法	論文：・Evaluation of Uncertainties in Measurement of Isotopic Abundance by Semi-quantitative Analysis with TOF-SIMS, J. Condensed Matter Nucl. Sci. 11 (2013) 93-100（共著） ・情報処理技術に対する意識と 情報処理関連科目の履修状況、くらしき作陽大学研究紀要、第 49 巻 第 2 号（通巻 第 88 号） 2016（共著） ・小学校教員採用試験受験学生の体力特性について―採用試験合格者と不合格者との比較一、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 研究紀要 第 52 巻第 2 号（通巻第 93 巻）2019 年（共著） ・データ 処理課題の解決における情報検索の有効性、CIEC・CIEC 春季カンファレンス 2020 論文集、2020 年（共著） ・文書作成課題における情報検索の有効性に関する研究、龍谷大学経営学論集 64(1):2024. 8, p. 17-28.、2024 年（共著） ・大学生におけるバランスの良い（主食・主菜・副菜の揃った）食事に対する認識の計量的分析、くらしき作陽大学作陽短期大学研究紀要 第 57 巻第 2 号（通巻第 103 巻）2024 年（共著）	1997.6－2002.3 作陽短期大学 情報処理学科（助手を経 て講師）2003.4 より現職	日本物理学会 情報処理学会 日本国際 教養学会	
19	佐々木 妙子	講師		修士（臨床栄養学） 管理栄養士	フードシステム論 給食経営管理論 給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ ヘルスケアマネジメント実習A・B 給食管理校外実習 給食経営管理臨地実習 管理栄養士入門	(著書) ・エネルギーコントロールの栄養食事療法、建帛社、2009 ・くらしき作陽大学食文化学部500kcal台のバランスメニュー、株式会社ハローズ、2016 ・めざせ合格管理栄養士国家試験応用力試験対策パーフェクトガイド、株式会社科学同人、2021 (論文) ・さくようヘルスケアレストランを用いた地域貢献活動、くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第 57 巻 第 2 号 p 115-125, 2024（筆頭著者） ・「さくようヘルスケアレストラン」を利用したヘルスケアマネジメント実習の構築 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第 48 巻第 1 号 p 39-51, 2015（筆頭著者）	川崎医科大学附属病院 管理栄養士 株式会社第一食品	日本栄養改善学会 日本給食経営管理学会	
20	早川 幸子	講師		修士（人間生活科学） 管理栄養士 病態栄養専門管理栄養士 肝炎コーディネーター	臨床栄養学実習Ⅰ、Ⅱ 給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ 栄養学演習 総合演習 管理栄養士入門 食活人キャリア 臨床栄養学臨地実習 給食管理校外実習	【著書】 ・知って役立つ脂肪性肝疾患ガイドブック、香川大学医学部附属病院, 2025（共著） ・血糖値にやさしい 私のおやつ、メディカ出版 糖尿病ケア, 2017. 10 月号, 2018. 2 月号（共著） ・在宅での栄養ケアを支える お手軽！介護食・嚥下調整食レシピ, Nutrition Care, 2024. 1 月号. 6 月号（共著） ・「よんしん健康新聞」 肝心かなめの肝臓のはなし, 四国新聞社, 2019. 8 月 9 月 10 月（共著） 【論文】 ・摂食障害患者の食行動および心理・社会的特性と管理栄養士としての関りについて、四国大学, 2024 【学会発表】 13 件（筆頭演者 8 件） 【社会貢献活動】 26 件（講演など）	医療法人善成会善成病院 富士産業株式会社四国事業部 医療法人雙立会碩心館病院 四国大学生活科学部健康栄養学科 非常勤講師（総合演習Ⅱ） 香川大学医学部附属病院	日本病態栄養学会 日本エイズ学会 日本栄養治療学会 日本給食経営管理学会	・リハ飯コンテスト 大会長賞 受賞（日本リハビリテーション栄養学会第 22 回学術集会） ・芳藍賞(四国大学)

21	仙田 あゆ美	助教		学士（食品栄養学） 修士（食品栄養学） 管理栄養士	食品学Ⅰ・Ⅱ 食品学実験Ⅰ・Ⅱ 栄養学総論	（学術論文） 1 オリーブ葉ポリフェノールの腎線維化抑制効果の検討 共著 2019 年 12 月 第 59 回大会－創立 30 周年記念大会（東京都 千代田区） オリーブ葉ポリフェノールであるオレウロペインとその代謝産物のヒドロキシチロソール、チロソールに、腎線維化抑制効果があるのかど うかについての検討を、ラット腎間質由来細胞である NRK49F を用いて行った。その結果、オレウロペインとヒドロキシチロソールは NRK49F 細胞に対して、線維化を誘導するサイトカインである TGF-β 1、TGF-β 3 と線維化を誘導するタンパク質である α-SMA の遺伝子 発現量を減少させる可能性が示唆された。 仙田あゆ美、多賀実紀、小林謙一（ベンチワークのほとんどは仙田あゆ美によって遂行された。） 2 ブドウポリフェノール腎臓における形質転換増殖因子 TGF-β 遺伝子発現に及ぼす影響の解析 共著 2020 年 5 月 第 74 回日本栄養・食糧学会大会（宮城県 仙台市）誌面大会 ブドウポリフェノールの形質転換増殖因子 β に対する影響について、培養細胞を用いて検討を行った。ブドウポリフェノールであるレスベ ラトロールは、腎線維促進因子の低下効果があるのに、逆に、腎線維化促進効果を有することが示唆された。一方、構造が似ているポ リフェノールであるピセアタンノールは、腎線維化促進因子には影響せずに、腎線維化抑制効果がある可能性が示唆された。 仙田あゆ美、本山陽子、山本菜乃、岩室麻衣、多賀実紀、小林謙一（ベンチワークのほとんどは仙田あゆ美によって遂行された。） 3 「腎」を守る機能性食品成分としてのオリーブ葉ポリフェノールに関する研究 共著 2020 年 10 月 おかやまバイオアクティブ研究会第 57 回シンポジウム・第 23 回学生プレゼンテーション（岡山県 岡山市） オリーブ葉ポリフェノールに腎線維化抑制効果があるのか否かを明らかにする目的で、腎線維化マーカータンパク質および腎線維化誘 導因子である形質転換増殖因子 β の遺伝子発現への影響に着目し、培養細胞を用いた検討を行った。オレウロペインと特にヒドロキシ チロソールには、腎線維化抑制作用および腎線維化誘導抑制作用がある可能性が示された。 仙田あゆ美、高須賀茉衣子、多賀実紀、小林謙一（ベンチワークのほとんどは仙田あゆ美によって遂行された。）	2019 年 4 月 ノートルダム清心女子大学人間生活学 部食品栄養学科 ティーチャングアシスタ ント （生化学実験・基礎栄養学実習、食品 衛生学実験、生体防御実験、食品学実 験） 2021 年 4 月 くらしき作陽大学食文化学部 実習助 手 （食品学実験Ⅱ、栄養生理・生化学実 験、公衆栄養学実習、応用栄養学実 習、食品衛生学実 験、病態生化学実 習、栄養教育論実習Ⅱ、食品学実験Ⅰ、ヘルスケアマネジメント実習 A、ス ポーツフード実習、総合演習Ⅱ、臨床 栄養学実習Ⅰ、栄養指導実習Ⅱ、給食 管理実習、商品開発実習Ⅰ、基礎実験、栄養指導実習Ⅰ、栄養学実習Ⅱ、 商品開発実習Ⅱ、食品	日本栄養・食糧学会	
22	原田 風	助教		修士（体育学） 管理栄養士 公認スポーツ栄養士	基礎栄養学 応用栄養学 栄養学実習 応用栄養学実習	（論文） スポーツクライマーに対する栄養サポートの実践例．登山研修 Vol. 35, 2020（共著） ユーススポーツクライマーに対する栄養指導のあり方．登山研修 Vol. 34, 2019（共著） リードクライミング競技のシミュレーション時におけるパフォーマンス及び筋力・生理応答．登山医学．登山医学 36 巻, 2006（共著）		日本スポーツ栄養学会	

【くらしき作陽大学 子ども教育学部】 専任教員数19名									
■子ども教育学科									
No.	氏名	職位	役職	学位(資格)	主な担当科目	主な研究業績	主な職歴	所属学会	賞罰等
1	小川容子	教授	学部長（子ども教育学部）	【学位】 博士（人間科学）(大阪大学) 【資格, 免許】 ・中学校教諭一級普通免許状（音楽） ・高等学校教諭二級普通免許状（音楽） ・高等学校教諭一級普通免許状（音楽）	音楽基礎Ⅰ 音楽基礎Ⅱ	【著書】 ・日本音楽教育事典 音楽之友社（2004） ・音楽する子どもをつかまえたい：実験研究者とフィールドワーカーの対話 ふくろう出版（2008） ・音楽教育学の未来-日本音楽教育学会設立40周年記念論文集 音楽之友社（2009） ・教科心理学ハンドブック 図書文化社（2010） ・教科教育学シリーズ⑤音楽科教育 一藝社（2015） ・音楽教育研究ハンドブック-日本音楽教育学会設立50周年記念出版 音楽之友社（2019） ・音楽知覚認知ハンドブック-音楽の不思議の解明に挑む科学 北大路書房（2019） ・わたしたちに音楽がある理由【音楽性の学際的探求】 音楽之友社（2020） ・学びを広げる教科の架け橋-教科架橋型教科教育実践学の構築- 九州大学出版会（2021） ・教育科学を考える 岡山大学出版会（2023） 【訳書】 ・音楽と感情の心理学 誠信書房（2008） ・演奏を支える心と科学 誠信書房（2011） ・絆の音楽性：つながりの基盤を求めて 音楽之友社（2018） 【教科書, 教材】 ・改訂版 最新 初等科音楽教育法 2017年告示小学校学習指導要領準拠 小学校教員養成課程用 音楽之友社（2020） ・改訂版 最新 中等科音楽教育法 2017/18年告示中学校・高等学校学習指導要領準拠 中学校・高等学校教員養成課程用 音楽之友社（2020） 【学術論文】 ・伴奏和声及び和声進行に対する小学校高学年児童の情緒的反応- SD法による分析を通して- 『音楽教育学』 第17-2号, 3-13（1988） ・旋律記憶-旋法メロディの再認・再生実験を通して- 『音楽教育学』 第22-2号, 15-26（1993） ・幼児・児童の歌唱教材における音域分布の調査研究-子どもの声域との比較を通して- 『音楽知覚認知研究』 第1巻, 53-60（1995） ・Modification of musical schema for Japanese melody: A study of comprehensible and memorable melody. <i>Bulletin of the Council for Research in Music Education</i> , No.127, 136-141（1996）. ・Starting pitch and unified key process in adult group singing. <i>Bulletin of the Council for Research in Music Education</i> , No.133, 100-104（1997）. ・A cross-cultural examination of music instruction analysis and evaluation techniques. <i>Bulletin of the Council for Research in Music Education</i> , No.133, 121-128（1997）. ・The Preference of Signal Music at Railway Stations in Tokyo. <i>Children and Music: Developmental Perspectives</i> . University of Tasmania, 233-240（1999）. ・Preference of bouncing rhythm in Japanese folk songs by young generation. <i>Bulletin of the Council for Research in Music Education</i> , No.141, 124-128（1999）. ・Some aspects of signal music in controlled attributes. <i>The 7th Western Pacific Regional Acoustics Conference</i> , Proceedings, Vol.2, 833-838（2000）. ・Teaching evaluations and comments by pre-service music educators from Argentina, Australia, Japan and USA. <i>Bulletin of the Council for Research in Music Education</i> , No.147, 153-158 ・発車の合図としての音楽-その快適さについての心理評価について- 『騒音制御』 Vol.25.No.1, 8-12（2001） ・Convergent Process of Unified Key on Singing of Playground Game Songs. <i>The 3rd Asia-Pacific Symposium on Music Education Research</i> . Aichi University of Education. Proceedings, Vol.1, 43-46（2001）. ・Back to the Japanese Tradition or a Step to the Unisex Society?—A Review of Gender and Vocal Singing Range in Japanese Pop Songs from 1947 to 2000. <i>The 3rd Asia-Pacific Symposium on Music Education Research</i> . Aichi University of Education. Proceedings, Vol.2, 121-126（2001）. ・発車サイン音楽の音楽要素に関する心理学的研究 『音楽知覚認知研究』 Vol.8, No.2, 65-79（2002） ・Effect of strength of rhythmic beat on preference of young music listeners in Brazil, Greece, Japan, Portugal and United States. <i>Bulletin of the Council for Research in Music Education</i> , No.153/4, 36-41(2002). ・An Analysis of the Characteristics of Flat Pitch Production. <i>Proceedings of ICA 2004, The 18th International Congress on Acoustics</i> . 2967-2968（2004）. ・Preschool Children’s Vocalization during Child-adult Interactions: Comparison of Laboratory Condition and Natural Condition. <i>The 5th Asia-Pacific Symposium on Music Education Research</i> , 121-126（2005）. ・Preschool children’s peer teaching: A case study of interactive operation. <i>Proceedings of the 9th International Conference on Music Perception and Cognition</i> , 1741-1745（2006）. ・Learning Absolute Pitch by Children: A Cross-sectional study. <i>Music Perception</i> , Vol.24-1, 63-78（2006）. ・社会の音環境-調査方法から探る音の感情的側面 『音楽教育実践ジャーナル』 Vol.4, No.2,71-79（2007） ・The acquisition process of children’s game songs during peer teaching: A semi structured experiment with preschool children. <i>Research Studies in Music Education</i> , No.29, 69-78（2007）. ・モーツァルト風作品の作曲過程と演奏解釈『情報処理学会研究報告』 2008-MUS-78(13), 73-78（2008） ・Deformation process from equal to dotted quaver by children. <i>The 8th Asia-Pacific Symposium on Music Education Research</i> , CD-ROM（2011）. ・A comparative study of music aptitude test for elementary school children in Japan, Taiwan and Hong Kong. <i>The 8th Asia-Pacific Symposium on Music Education Research</i> , CD-ROM（2011）. ・大学生を対象とした演奏不安の発生と推移 『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』 第154号, 57-63（2013） ・「びよんこ」リズムの記憶と変容-大学生を対象とした再認実験から探る- 『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』 第161号, 87-94（2016） ・授業実践を通した学生・指導者・研究者の学びと意識の変容-小学校音楽授業におけるデザインベース研究の導入- 『教育実践学論集』 第17号, 279-288（2016） ・教科内容構成による中学校の授業づくりと教員養成プログラムの改善 (2)-音楽科, 保健体育科, 美術科, 技術・家庭科（技術分野）を事例として- 『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』 第167号, 121-129（2018） ・小学校音楽の器楽授業の構造-専門性に着目した評価尺度の作成- 『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』 第175号, 39-46（2020） ・Professional music teachers’ knowledge and beliefs: Re-forming pedagogical content knowledge. <i>Proceedings of the 13th Asia-Pacific Symposium for Music Education Research</i> , 211-218（2021）. ・芸術教育における創造の場-創造的な学びの触発と教師の支援- 『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』 第179号, 75-84（2022） ・音楽授業における達人教師の指導言-場面による「ことば」の意味- 『岡山大学教師教育開発センター紀要』 第12号, 181-195（2022） ・The Creative Processes of Students in Mini-c: Meaningful Connections in Music and Fine arts. <i>Proceedings of the 17th International Conference on Music Perception and Cognition and the 7th Asia-Pacific Society for the Cognitive Sciences of Music</i> . 380-383（2023）. ・芸術教育における創造性と評価-創造的活動にみる個人差 『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』 第185号, 105-113（2024）	・鳥取大学教育学部助教授（1996年） ・鳥取大学地域学部教授（2005年～2012年） ・鳥取大学地域学部副学部長（2010年～2012年） ・岡山大学教育学部・岡山大学大学院教育学研究科教授（2012年～2024年） ・岡山大学教育学部副学部長・岡山大学大学院教育学研究科副研究課長（2020年～2024年） この間 ・日本音楽教育学会会長（2012年～2018年） ・日本音楽知覚認知学会会長（2019年～2023年） ・大学設置・学校法人審議会専門員（2012年～2016年） ・日本学術会議連携会員（2011年～現在）	・日本音楽教育学会 ・日本音楽知覚認知学会 ・ISME (International Society for Music Education) ・ICMPC(International Conference for Music Perception and Cognition)	・鳥取大学教育功績賞（2009年） ・岡山大学名誉教授（2024年）

2	橋本 勇人	教授	子ども教育学科 長	(学位) 博士 (医療福祉学) 法学修士 (資格) 社会福祉士 (免許) 高等学校教諭一級普通免許状 (社会)	日本国憲法 保育実習指導Ⅰ (施設) 保育教職実践演習 育人キャリアⅡ 育人キャリアⅢ 育spa総合	業績リンク: https://researchmap.jp/ read0144224 参照 【著書等】 12 冊 幼稚園教諭・保育教諭をめざす人のための教育学入門 (編著), 大学教育出版, 2020 年 保育と日本国憲法 (編著), みらい, 2018 年 介護職員初任者研修課程テキスト メインテキスト 1 介護・福祉サービスの理解 (共著), 日本医療企画, 2021 年 子ども家庭福祉論 (共著), 建帛社, 2018 年 相談援助セミナー (共著), 建帛社, 2012 年 児童家庭福祉論 (共著), 建帛社 2011 年 医療福祉学の道標 (共著), 金芳堂, 2011 年 ソーシャルワーク実践と生活モデル (上) (下) Germain, Carel B., Gitterman, Alex (共訳) ふくろう出版 2008 年 社会福祉論 (共著), 建帛社 2007 年 など 【論文等】 84 本 子どもの権利条約に至るまでの「子どもの権利」の変遷 ― いわゆる 4 つの一般原則と労働, 家庭, 保育・教育の観点からの整理― (共著), 川崎医療福祉学会誌 34(2) 303-310 2025 年 人口減少社会における医療福祉専門職のあり方―フィンランドのラヒホイタヤから日本への示唆― (共著), 旭川荘研究年報 55(1) 101-102 2024 年 学校・家庭・地域をつなぐ専門職の課題と展望 : スクールソーシャルワーカー、小学校(二種)、子ども家庭ソーシャルワーカーの連携の可能性 (共著), 教育学研究紀要 70 514-519 2024 年 多様性を包摂する教育と福祉の関係―多様性を支える日本国憲法とともに― (単著), 日本学校教育学会年報 6 72-88 2024 年 子ども医療福祉の実践と理論的背景 (単著), 川崎医療福祉学会誌 33(2) 271-279 2024 年 フィンランドのネウボラから見た日本の子どもを取り巻く支援体制 A 市の実際と, 高橋睦子の所説を起点とした芬日比較 (第 1 著者), 川崎医療福祉学会誌 32(1) 139-146 2022 年 医療的ケア児の保育に必要とされる医療知識と支援について 就学前の保育施設を利用する医療的ケア児を対象とした文献検討 (共著), 川崎医療福祉学会誌 32(1) 185-190 2022 年 8 月 精神保健福祉士と保育士・幼稚園教諭との多職種連携の捉え方の相違 ―専門性の違いに着目して― (共著), 川崎医療福祉学会誌 32(1) 147-157 2022 年 保育者のキャリア支援(単著), 保育学研 59(3) 281-285 2021 年 看護職者が起こしやすい個人情報漏えい事故の原因に関する分析―2017 年の改正個人情報保護法施行までに起きた事故事例をもとに― (共著) 日本看護研究学会雑誌 41(5) 5_1005-5_1012 2018 年 ソーシャルワークとケアワークの関係 : 再融合論に基づく, 新しい「子ども支援者養成」の試み (短著) 川崎医療短期大学紀要(36) 47-51, 2016 年 医療・福祉・教育系大学における個人情報保護教育の授業展開と改善 : 法教育と専門科目・卒後教育との連続性を見すえた実践 (第 1 著者) 法と教育 5 19-29 2014 年 など	社会福祉法人旭川荘 吉備国際大学社会福祉学部講師 吉備国際大学社会福祉学部助教授 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部教授 川崎医療短期大学医療保育科主任教授 川崎医療福祉大学子ども医療福祉学 科学科長・教授 岡山県高等学校 PTA 連合会会長 岡山朝日高校 PTA 会長 (学校評議員)	日本保育学会 日本学校教育学会 日本社会福祉学会 法と教育学会 日本私法学会	最優秀ポスター賞, 第 25 回日本医療情報学会看護学術大会 全国保育士養成協議会功労者表彰 (令和 2 年度全国保育士養成セミナー大会 長・常任理事 2 年・理事 2 年) 全国高等学校 PTA 連合会会長表彰 (岡山県高等学校 PTA 連合会の活動)
3	岡田 英三	教授		教育学士 小学校教諭一級普通免許状 中学校教諭一級普通免許 状 (社会) 高等学校教諭二級普通免許状 (社会) 特別支援学校教諭二種免許状	社会科指導法 社会Ⅰ・Ⅱ 育spart入門 育人キャリアⅢ 教職実践演習 総合的な学習の時間の指導法 ラーニングスキルズ	【著書】 「学び方を培う生活科・社会科の授業」明治図書 (共著) 1991 「自ら『学ぶ目的』をもつ授業」明治図書 (共著) 1994 「調べ学習 社会科の授業づくり①」国土社 (共著) 1997 「新たな自分をつくる社会科学習の基礎・基本」明治図書 (共著) 2002 『『社会』と向き合う子どもを育てる社会科学習』岡山県小学校教育研究会社会科部会 (共著) 2015 【論文】 「主体的に生きる子どもを求めて (1・2・3 年次)」岡山大学教育学部附属小学校研究紀要 (共著) 1991～1993 「自ら『学ぶ目的をもつ』授業づくり (1・2 年次)」岡山大学教育学部附属小学校研究紀要 (共著) 1994～1995 「子どもが学びを作る授業 (1・2 年次)」岡山大学教育学部附属小学校研究紀要 (共著) 1996～1997 「二十一世紀をしなやかに生きる子どもの育成 (1 年次)」岡山大学教育学部附属小学校研究紀要 (共著) 1999 「ESD 教育の実践と授業力向上を目指した学校経営」〈新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成Ⅱ (教育研究シリーズ第 54 集)〉全国連合校長会 (共著) 2016	岡山市公立小学校教諭 岡山大学教育学部附属小学校教諭 岡山市内公立小学校長 岡山市初任者研修拠点校指導教員 岡山県小学校教育研究会社会科部会 会長		

4	田岡 由美子	教授	教務委員	博士（教育学） 小学校教諭一種普通 免許状 幼稚園教諭一種普通 免許状 幼稚園教諭専修免許 状	保育内容（人間関係） 保育内容（人間関係）の 指導法 教育実習	< 著書 > 『こどもと関わる』 第3章 こどもを理解するために、ブイツーソリューション, p.43-54, p.82-86, 2013年3月 『ことばと表現力を育む児童文化』 第7章 おもちゃ, 萌文書林, p.184-198, p.207-208, 2013年12月 - 単著『フレーベルにおける「予感」の研究—解釈学的・人間学的考察—』, 高管出版, 2014年2月 『実践を創造する保育原理』 第5章 世界の保育の歴史に学ぶ ―諸外国の保育思想―, (株)みらい, p.72-86, 2016年4月 - 編著『ともに生きる保育原理（新時代の保育双書）』, (株)みらい, 執筆箇所 p.3-4, p.11-23, 及び編集, 2018年4月 “The educational meaning of ‘wander’ in nature according to the development of early childhood”, <i>The Routledge International Handbook of Froebel and Early Childhood Practice - Re-articulating Research and Policy</i>, Routledge, p.114-121, Aug., 2018. (査読付き) 『未来を担うこどもたち—寄り添い、関わり、ともに学ぶ—』 第4章 こどもの育つ道すじ, 龍谷大学短期大学部こども教育学科, p.53-65, p.110-114, 2021年4月 “The Realisation of 'Life Unity' in the Mother Songs”, <i>The Bloomsbury Handbook to Friedrich Froebel</i>, Bloomsbury Academic, Nov., 2023. (査読付き) < 学術論文 > 「保育実践力育成のための正課と正課外を往還する体制づくりの試み—「こども教育学科多目的室」活用を中心として—」(査読付き論文), 『保育士養成研究』第29号, p.97-106, 2012年3月 「フレーベルにおける「歩く」ことの教育人間学的考察—予感との連関において—」(査読付き論文), 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会紀要『人間教育の探究』第24号, p.23-39, 2012年3月 「幼児教育と小学校教育の接続に関する原理的考察 — F. フレーベルの媒介学校構想を中心にして—」(査読付き論文), 『龍谷教職ジャーナル』第2号, p.39-54, 2015年3月 「E. ヘールヴァルトのイギリスにおける活動に関する一考察 —ストックウエル・カレッジの幼稚園構想とその特徴—」(査読付き論文), 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会紀要『人間教育の探究』第29号, p.45-69, 2017年7月 「フレーベル教育学に基づくエディンバラ大学現職保育者研修プログラム参加報告」(査読付き論文), 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会紀要『人間教育の探究』第32号, p.25-40, 2020年7月 「幼稚園教育実習のオンライン代替授業実践報告—コロナ禍のもとでいかに教育実習の代替授業を行ったか—」(査読付き論文), 『龍谷教職ジャーナル』, p.80-96, 2022年3月 「フレーベル研究の理論的立場から —「子ども」の育ちやそれに関わる「大人」の立場からフレーベルを読み解く—」, 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会紀要『人間教育の探究』第36号, p.39-44, 2024年7月 「子どもの生命を育てることと環境」, 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会紀要『人間教育の探究』第37号, 2025年7月	立命館大学 非常勤講師 (2004 年 4 月～2010 年 3 月) 龍谷大学短期大学部こども教育学科 教授 (2007 年 4 月～2025 年 3 月) 甲南女子大学 非常勤講師 (2011 年 4 月～2012 年 3 月) 龍谷大学全学卒国外研究員 (ローハンプトン大学フレーベルカレッジ、イギリス) (2015 年 4 月～2016 年 3 月)	日本保育学会 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会 教育哲学会 関西教育学会 龍谷學會 真宗保育学会 The International Froebel Society	日本ペスタロッチャー・フレーベル学会 研究奨励賞（荘司賞）第1号 受賞, 2000 年 9 月
5	高橋 伸明	教授		・教育学士 ・小学校教諭一級普通 免許状 ・中学校教諭一級普通 免許状(社会) ・高等学校教諭二級 普通免許状(社会)	・初等教育方法論 ・教育方法・技術論 ・IT リテラシー基礎 ・生徒指導の理論及び方 法 ・学級経営論	【論文】 ・高橋伸明 (2024)「小学校社会科教科書を活用した『個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実』の可能性」(日本カリキュラム学会第35回筑波大学大会発表要旨集録) ・高橋伸明・堀田龍也 (2013)『情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる』授業設計モデルの検討」(全日本教育工学研究協議会第39回年会論文集 CD-ROM, C4) ・高橋伸明・影山知美・吉野和美・笠原晶子・宮脇康一・渡辺純恵・西田光昭・松橋尚子・土屋亜矢子・宇田智津・此川美奈代・圓子靖子・石井聡・岸本厚子・天野三鶴・堀田龍也 (2012)「非常時におけるメディア活用 に備えた指導事例集開発のための授業実践」(全日本教育工学研究協議会第38回年会論文集 CD-ROM I-04) ・高橋伸明・吉野和美・影山知美・笠原晶子・松橋尚子・宮脇康一・渡辺純恵・此川美奈代・天野三鶴・堀田龍也 (2011)『『情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動』のための授業パッケージを活用した教員研修プログラムの評価」(日本教育工学会研究報告集 JSET11-5, pp. 29-34) ・高橋伸明・吉野和美・影山知美・笠原晶子・松橋尚子・宮脇康一・渡辺純恵・此川美奈代・天野三鶴・堀田龍也 (2011)『『情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動』のための授業パッケージの開発」(全日本教育工学研究協議会第37回年会論文集 CD-ROM H-08) ・高橋伸明・堀田龍也 (2009)「メディアが伝える情報の分析活動を取り入れた消費者教育の授業設計のための手順モデルの開発」(全日本教育工学研究協議会第35回年会論文集 CD-ROM H-06) ・高橋伸明・宮脇康一・三宅美弥・石井聡・影山知美・長谷川陽子・堀田龍也 (2009)「メディアが伝える情報の分析活動を取り入れた消費者教育の授業モデルの検討」(日本教育工学会研究報告集 JSET09-2, pp. 137-144) ・高橋伸明・堀田龍也 (2008)「メディアが伝える情報の分析活動を取り入れた消費者教育の授業実践」(全日本教育工学研究協議会第34回年会論文集 CD-ROM H-08) ・高橋伸明・堀田龍也 (2007)「模擬授業を取り入れたメディアとのつきあい方学習ワークショップモデルの開発」(日本教育情報学会第23回年会論文集, pp. 140-141) ・高橋伸明・堀田龍也 (2006)「情報モラル教育にメディア・リテラシー教育の学習活動を融合させた学習指導モデルの開発」(日本教育工学会第22回年会論文集, pp. 591-592) ・高橋伸明・吉野和美・影山知美・松橋尚子・堀田龍也 (2006)「メディアとのつきあい方学習教員向けワークショップモデルの開発」(全日本教育工学研究協議会第32回年会論文集, CD-ROM H-09) ・高橋伸明・堀田龍也 (2005)『『メディアとのつきあい方学習』の教員研修デザイン」(全日本教育工学研究協議会第31回年会論文集, CD-ROM H-01) ・高橋伸明・堀田龍也 (2005)「メディア・リテラシー教育のための児童向けテキストの開発」(日本教育工学会第21回年会論文集, pp. 257-258) ・高橋伸明・堀田龍也 (2004)「小学校中学年におけるメディア・リテラシー教育の到達目標に関する一考察」(日本教育工学会第20回年会論文集, pp. 397-398) ・高橋伸明・中村ひとみ・前田知之・上村千栄・浅野浩二・木山博文・山本英治・藤原一志・堀田龍也 (2003)「メディア・リテラシーを育てる授業作りのための単元モデルに関する研究」(日本教育工学会第19回年会論文集, pp. 239-240) ・高橋伸明・松原義忠・今城瑞江・藤原一志 (2003)「子ども制作ビデオ作品を地元CATVの番組で放映するプロジェクト学習の研究」(第29回全日本教育工学研究協議会全国大会研究発表論文集) ・高橋伸明, 中村ひとみ, 前田知之, 春名淳子, 笠行和美, 文箭敏, 平松茂, 堀田龍也 (2002)「小学生のメディア・リテラシー育成のための単元モデル」(日本教育工学会第18回年会論文集, pp. 641-642) ・高橋伸明 (2002)「デジタル日記でいいとこみつけ！～写真を使って掲示物を作ろう&プレゼンテーションしよう～」(第28回全日本教育工学研究協議会全国大会研究発表論文集, pp. 21-24) ・高橋伸明・堀田龍也 (2002)「メディア・リテラシー教育番組『体験!メディアのABC』の効果的な活用方法に関する一考察」(第28回全日本教育工学研究協議会全国大会研究発表論文集, pp. 17-20) ・高橋伸明 (2001)『『ディジタル日記』を活用したよりよい人間関係づくり等の研究 ～児童がマルチメディアを活用して作る生活記録の取り組みを通して～」(第27回全日本教育工学研究協議会全国大会研究発表論文集, pp. 21-24) ・高橋伸明 (2000)「マルチメディアプロジェクト学習とポートフォリオ評価の試み～総合的な学習の時間『ぼくもわたしもカブトガニプロジェクト』の実践を通して～」(第26回全日本教育工学研究協議会全国大会研究発表論文集, pp. 37-40) 【著書】 ・「続 やってみよう！小学校はじめてのオンライン授業」(2020, 株式会社学陽書房, 共著) ・「[教職課程コアカリキュラム対応]情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術」(2019, 株式会社三省堂, 共著) ・「社会科の達人が推薦する 社会科重要資料の指導法 30 選 6 年生」(2015, 株式会社教育同人社, 共著) ・『[校務の情報化]で学校経営がこう変わる」(2015, 株式会社教育開発研究所, 共著) ・「社会科の達人が推薦する 社会科重要資料の指導法 30 選 5 年生」(2015, 株式会社教育同人社, 共著) ・「教育の情報化と著作権教育」(2010, 株式会社三省堂, 共著) ・「私たちと情報 5 年 6 年」(2010, 株式会社学研教育みらい, 共著) ・「わたしたちとじょうほう 3 年 4 年」(2010, 株式会社学研教育みらい, 共著) ・「メディアとのつきあい方学習 実践編」(2006, 株式会社ジャストシステム, 共著)	・岡山県内公立小学校教諭 ・岡山県情報教育センター指導主事 ・岡山県総合教育センター指導主事 ・岡山県内小学校長 ・笠岡市内幼稚園長	・日本教育工学会 ・日本カリキュラム学会 ・日本教育メディア学会	・第10回上月情報教育賞優秀賞(2002, 笠岡メディア・リテラシー教育カリキュラム開発研究会・代表) ・第5回コンピュータ教育実践アイディア賞「実践事例アイディア集編集委員会委員長賞」(2002) ・岡山県教育関係功労者 特別業績教諭 (2002) ・岡山県教育弘済会第 12 回野崎教育賞 (2004) ・松下教育研究財団第 15 回研究賞「文部科学大臣賞」(2004, 笠岡メディア・リテラシー教育カリキュラム開発研究会・代表) ・日本教育工学協会認定学校情報化優良校 (2023, 笠岡市立笠岡小学校・校長) ・文部科学省リーディング DX スクール事業指定校 (2024, 笠岡市立笠岡小学校・校長)

6	田野 洋一郎	教授		修士（教育学） 社会福祉士 応用心理士	社会福祉 社会的養護Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ他	【論文】 非行少年の悩みと施設収容の効果（共著） 児童虐待への初期対応の現状（共著） 日本における児童虐待対応のあり方に関する一考察（単著）他	警視庁（心理職） 岡山県中央児童相談所長 岡山県女性相談所長 岡山県立成徳学校長 はくほう会医療専門学校非常勤講師 岡山大学大学院社会文化科学研究科 非常勤講師 岡山県社会福祉審議会委員	日本応用心理学会	岡山県警察本部長表彰（青少年の健全育成）
7	中根 征也	教授		修士（学術） 理学療法士	肢体不自由児の心理・生理・病理 知的障害児の心理・生理・病理 発達障害児教育総論 重複障害児教育総論特別支援教育総論 特別支援学校教育実習	【著書】 1. 知的障害教育の教育課程―歩進んだ理解のために 大学教育出版 2025〔共著〕－ 2. リハの現場でこんなに役立つiPhone活用術羊土社 2019〔共著〕 3. 臨床動作分析-PT・OTの実践に役立つ理論と技術- 三輪書店 2018〔共著〕 【総説】 ・呼吸器疾患患者の胸郭の機能障害と理学療法、理学療法、 2015；32。 【論文】 1. 医療系大学に通う女子学生の生理用品使用と鍼灸認知に関する調査-無料生理用品・温灸器設置についての事前・事後調査-、くらしき作陽大学・短期大学 研究紀要、2024；57（1）：3-12。 2. 我が国における自閉スペクトラム症児への運動介入効果：スコーピングレビュー、理学療法科学、 2024；39：60-65。 3. Changes in Behavior, Professionalism, and Views on Life and Death among Physical Therapists and Students during the COVID-19 Pandemic in Japan、森ノ宮医療大学紀要、2023；17：15-25。 4. 自閉スペクトラム症児における静的・動的バランス能力の特徴と社会的相互作用に及ぼす可能性、リハビリテーション心理学研究、 2022；48：91-99。 5. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンラインで実施した臨床実習の学生満足と今後の課題、理学療法学、 2021；48：628-635。 6. 介護予防を目指した体操開発に関する研究、森ノ宮医療大学紀要、 2017；11：49-56。 7. 股関節術後早期の股関節外転・伸展反応時間、関節トルクの特性と動作能力との関連性、理学療法学、 2015；42：186-187。 8. 徒手筋力検査技術のためのルーブリック評価導入、リハビリテーション教育研究、 2015；21：422-427 9. 継ぎ足歩行練習が静的・動的立位バランスに及ぼす影響-縄上テープ上継ぎ足歩行の比較、生態心理学研究、 2013；6：83-84。 10. 支持面の違いが大腿四頭筋セッティング時の大腿四頭筋活動、生態心理学研究、 2013；6：81-82。 11. 10. 身体軸と立位姿勢保持戦略の関連性について-両側の中殿筋活動に着目して-、生態心理学研究、 2013；6：79-80。 12. 生態心理学的概念に基づいた運動療法が跨ぎ動作に及ぼす影響、生態心理学研究、 2013；6：51-52。	八幡中央病院リハビリテーション科 阪奈中央リハビリテーション専門学校専任講師 阪奈中央病院リハビリテーション科（兼務） 森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部教授 明武館療育クラブ 大阪府立生野支援学校特別非常勤講師（福祉医療関係人材）	日本理学療法学会連合 日本生態心理学会 日本発達障害学会 日本リハビリテーション心理学会 理学療法科学学会	
8	福島 治子	教授		修士（教育学） 高等学校教諭専修免許状（英語・国語） 中学校教諭専修免許状（英語・国語）	小学校英語Ⅰ 小学校英語Ⅱ 小学校英語指導法 Basic English A Basic English B 育人キャリアⅣ ゼミナール 卒業研究	〔論文・単著〕 小学校英語の教科化に向けた教養課程における英語教育、『くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要』第50巻第1号・第2号合併号、p p 3-14、2017年 〔教育研究実践報告・単著〕 小学校教員養成における英語科の授業実践力向上のための取組、『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第54巻第1号に合冊、p p 49-60、2021年 「小学校英語指導法」における授業実践力向上のための取組、『くらしき作陽大学・作陽短期大学 研究紀要』第57巻第2号（通巻第103巻）、pp163-180、2024年 〔論文・共著〕 教養英語充実のための全学的な英語多読指導の成果と課題－オンラインシステムを活用した実践－、『くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要』第50巻第1号・第2号合併号、p p 1-13、2017年 模擬授業観察によるICTを活用した学生フィードバック分析－小学校外国語活動・外国語の指導技術の向上を目指して－、『くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要』第51巻第2号、p p 73-83、2018年 大学初年次教育における英語多読の教育効果に関する研究、『くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要』第52巻第2号、p p 53-62、2019年	岡山県内公立中学校教諭 岡山県教育庁副参事 岡山市内公立中学校教頭 岡山大学教育学部附属中学校副校長 岡山市教育委員会審議監 岡山市内公立中学校校長 岡山県中学校長会会長 全日本中学校長会理事	小学校英語教育学会	黒正賞（岡山大学） 文部科学大臣教育者表彰受賞
9	藤井 朗	教授		教育学士 小学校教諭一級普通免許状 中学校教諭一級免許状（社会） 高等学校教諭二級免許状（社会）	教育実習指導 生徒・進路指導論 小学校教育課程論 生活Ⅰ・Ⅱ 生活科指導法 算数Ⅰ・Ⅱ 算数科指導法 育人キャリア	「一人ひとりが自己存在感・成就感を実感できる児童の育成」を研究テーマとした算数科の授業研究 「主体的・対話的で深い学び～学びのプロセスを大切にした算数科の授業をめざして～」を研究テーマとした算数科の授業研究 「楽しみながら自然と関わり、生き生きと活動する子」を研究テーマとした生活科の授業研究	岡山県立岡山盲学校教諭・舎監 岡山市立小学校教諭 倉敷市立小学校教諭 広島県福山市立小学校教諭 岡山県教育庁保健体育課指導主事・主幹 岡山県生活環境部県民生活課副参事 倉敷教育センター館長 倉敷市立小学校長（菅生小学校、葦高小学校）	日本生活科・総合学習教育学会 日本数学教育学会	

10	松崎 保弘	教授		教育学修士 特別支援学校教諭一種免許 小学校教諭二種免許 中学校・高等学校教諭一種免許（理科）	特別支援教育総論 知的障害児の教育Ⅰ・Ⅱ 発達障害児教育総論 障害児保育Ⅰ・Ⅱ 特別支援学校教育実習 教職実践演習	重心動揺からみたダウン症児の直立姿勢保持能力. 特殊教育学研究第24巻2号. 1986.（単著） 精神遅滞児の動的平衡能. 発達障害研究第9巻2号, 1987.（単著） 短期集中訓練による重度精神遅滞児の頻尿の改善. 発達の遅れと教育第374号, 1989.（筆頭） Motor Pattern during the Standing Long Jump in Individuals with Mental Retardation. Adapted Physical Activity : Health and Fitness, 1994.（筆頭） 特殊教育諸学校の初任者研修における養成課程の影響－特殊教育専攻群と非専攻群の意識の比較－. 特殊教育学研究第41巻1号, 2003.（単著） 構成障害が疑われた知的障害児に対する指導の一事例. 大阪体育大学教育学研究, 第1巻, 2017.（単著） 先天性肢体不自由児の障害認識について－6人の肢体不自由者へのインタビュー結果から－. 大阪体育大学健康福祉学部紀要第15巻, 2018.（筆頭） 知的障害児に実施した散歩学習の調整力に及ぼす効果. 福岡女学院大学紀要人間関係学部編第23号, 2022.（単著） コロナ禍における特別支援学校のチームティーチング－知的障害特別支援学校小学部における「朝の会」の事例から－. 福岡女学院大学紀要人間関係学部編第25号, 2024.（筆頭）	沖縄県立養護学校教諭 沖縄県教育庁指導主事 沖縄県立教育センター指導主事 沖縄県立養護学校教頭 大阪体育大学教授 福岡女学院大学教授	日本特殊教育学会 日本SNE学会 日本教育心理学会 日本発達障害学会 日本アダプティッドスポーツ学会 日本体育・健康・スポーツ学会	下中記念財団教育奨励賞（1986, 1989, 1990） 安田生命社会事業団研究論文・療育レポート 入選（1991）
11	山本 智子	教授		保育士資格 幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭二種免許状 養護学校教諭二種免許状	保育内容（環境） 保育内容（環境）の指導法 幼児教育方法論 保育学（実習を含む） 保育・教職実践演習（幼小） 子育て支援実践演習 教育実習指導（事前事後指導含む） くらしき学講座 キャンパスライフデザインⅠ 育人キャリアⅡ 育スパート入門 育スパート基礎 育スパート総合 ゼミナール（実技型） 卒業研究（実技型）	「子どものファンタジー傾向と読書活動」2016 岡山大学研究協力 創作紙芝居「バッタやなかまたち～それぞれの思いを表現する過程を大切に～」2014（「指導と研修」掲載） 「人と心を通わせ、互いに認め合う子どもの育成～環境の構成や援助を探る～」2018（共著） 「幼児・児童・生徒に身に付けさせたい生活習慣等連携構想表・学びの系統表」2018（共著） 「岡山式カリキュラム～就学前教育から小学校教育への接続を求めて～」改訂2023（共著） 「生命（いのち）の安全教育」関連表（幼児期）岡山市2023（共著） 「幼保小架け橋プログラムリーフレット（岡山市）・岡山市式架け橋カリキュラムの検討・開発のポイント」2024（共著）	岡山市立幼稚園長 岡山市教育委員会指導主事 岡山っ子育成局幼児教育専門監 岡山市教育委員会指導課長代理 岡山県国公立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会事務局員 岡山市国公立幼稚園・こども園 PTA 連合会事務局員 岡山市幼児教育と小学校教育の円滑な接続プロジェクト委員 岡山市特別支援連携協議会委員 岡山市地域子育て拠点事業委託業務企画競争委員会委員 岡山市子ども子育て会議委員 浅口市子ども子育て会議委員		岡山市永年勤続表彰 岡山市どろんこ教育賞特別賞 優良 PTA 文部科学大臣表彰 岡山県警察交通安全功労者表彰
12	横山 昌弘	教授		教育学士 小学校教諭一種免許 中学校教諭一種免許（理科） 高等学校教諭二種免許（理科）	理科Ⅰ・Ⅱ 理科指導法 特別活動の指導法 教育実習（事前事後指導含む） コミュニティライフデザイン 育スパート総合 教職実践演習	【著書】 ・「親子で楽しむ岡山の自然たんけん」（共著）1995 ・「児童の思いや願いを生かす理科学習の在り方」（共著）1996 ・「学習評価に関するQ&A」（共著）2004 ・「新学習指導要領（理科）に即したCDロム」（共著）2000 ・人権教育指導資料Ⅳ「男女平等教育編」（共著）2007 ・「おもしろ実験研究所」（共著）2016 ・「改訂新版おもしろ実験研究所」（共著）2020 【論文】 ・「物の変化の規則性についての見方や考え方を育てる指導の在り方についての研究」（単著）1989 ・「生命の連続性についての見方や考え方を育てる指導の在り方」（単著）1993 ・「生きる力を育む放送教育の在り方についての研究」（共著）1998 ・「自然への感性を高める理科指導の在り方についての研究」（単著）1998 ・「友だちと心を通わせながら全国発信に向けた思考の交流を促進する中央小型協同学習の推進」（単著）2017 ・「命の大切さを実感し命を守ることのできる幼児を目指して」（共著）2019 ・「命の大切さを実感し，自ら命を守ることのできる子どもを目指して」（共著）2021	岡山県内小学校教諭 総社市教育委員会指導主事 岡山県内小学校長 高梁市立幼稚園長	日本授業UD学会 日本理科教育学会	2017 日本教育公務員弘済会研究論文最優秀賞 2017 岡山県教育関係功労者表彰 2019 日本教育公務員弘済会研究論文優秀賞 2020 ティーチング・アワード表彰 2021 日本教育公務員弘済会教育論文優良賞
13	居川 寛子	准教授	学生募集広報委員長	・学士(音楽) ・中学校教諭一種免許状(音楽) ・高等学校教諭一種免許状(音楽)	【保育】 ・ピアノ演習 ・音楽基礎Ⅰ・Ⅱ ・保育内容(表現) ・保育内容(表現)の指導法 【音楽】 ・主科実技レッスン ・ピアノ伴奏演習Ⅰ・Ⅱ ・レスナー養成講座	【教育研究業績書】 「幼児教育における鍵盤ハーモニカ指導教材の考察」2017 【研究紀要】 ・作陽音楽短期大学研究紀要第51号第2巻2018(共著)「愛着障害と発達障害のある幼児の支援について」松田真正、樋口好美、居川寛子 ・作陽短期大学研究紀要第53号第2巻(通巻95号2020(共著)「発達障害と愛着障害との関係性に関する研究動向の概観と両者が併存する事例への支援に関する一考察」松田真正、水田有美、松田光恵、瀬戸山悠、居川寛子、向本裕子、児玉真寿美 ・作陽短期大学研究紀要第56巻第1号通巻100巻2023(共著)「保育士養成校の実習担当教員と施設職員のインタビューから施設実習の課題への抽出」山本健志郎、居川寛子	・岡山県鴨方高等学校(非常勤講師) ・川崎医科大学附属高等学校(非常勤講師) ・くらしき作陽大学(非常勤講師)) ・作陽音楽短期大学(専任講師) ・くらしき作陽大学(専任講師) ・作陽短期大学(講師) ・くらしき作陽大学(准教授) 現在に至る		くらしき作陽大学 ティーチング アワード受賞 2025

14	檜皮 修	准教授		修士（教育学） 小学校教諭専修免許状 養護学校教諭専修免許状 幼稚園教諭専修免許状	肢体不自由児の教育Ⅰ 肢体不自由児の教育Ⅱ 視覚障害児教育総論 キャンパスライフデザインⅡ 発達障害児教育総論 行動・学習支援理論演習 自立活動理論演習 特別支援学校教育実習	【著書】 ・「障害児と共につくる楽しい学級活動」（共著　・黎明書房） ・「自治体から創る特別支援教育」（共著　・クリエイツかもがわ） ・「特別支援教育の基礎と動向」（改訂版）（共著・培風館） ・「新しい特別支援教育のかたち」（共著・培風館） ・「特別支援教育・インクルーシブ教育のかたち」（共著・培風館）	滋賀県立養護学校教諭（知的・肢体不自由） 大津市立小学校教諭（通常学級） 大津市立小学校教諭（肢体不自由特別支援学級） 初任者研修指導教員（拠点校方式）	日本特殊教育学会 日本教師教育学会	
15	渡橋 佳子	講師		Master of Education (TESOL) オーストラリア	Basic English Advanced English 英語・資格セミナー 小学校英語 小学校英語指導法	【論文】 Online English Self-Study by University Students: A Study on Motivation and its Effectiveness During a Long Vacation 中国地区英語教育学会誌（共著）2022 大学生の長期休暇中における自主学習継続のための取り組みーモチベーション維持のための工夫ー 福山市立大学都市経営学部紀要（共著）2023 大学生の夏期休暇の自主学習について ～自律した学習者を育成するために～ くらしき作陽大学・作陽短期大学紀要（単著）2024 【学会発表】 中国地区英語教育学会発表 2021 中国地区英語教育学会発表 2022 全国英語教育学会発表 2023 The 5 th Doing Research in Applied Linguistics International Conference（バンコク）発表 2024	福山市立大学	全国英語教育学会 中国地区英語教育学会 日本リメディアル教育学会	
16	高橋 慧	講師		博士（学校教育学）	図画工作Ⅰ・Ⅱ 保育内容（表現） 保育内容（表現）の指導法 ピアノ演習Ⅰ・Ⅱ	1．高橋慧：「子どもの絵画表現と Joan Miro に見る 20 世紀美術の子ども性」、『大学美術教育学会誌』第 43 号, 191-198 頁, 2011 年 3 月. 2．高橋慧：「絵画表現と近接芸術分野における表現領域の交差から見た親和性」、『大学美術教育学会誌』第 44 号, 263-270 頁, 2012 年 3 月. 3．高橋慧：「乳幼児期からの複数領域を結びつける表現活動の可能性と感覚間協応に基づく理論的説明」,『美術教育学』第 36 号, 265-278 頁, 2015 年 3 月. 4．高橋慧：「保育実践の造形分野における共感覚的表現に関する研究の動向と課題」,『美術教育学研究』第 47 号, 175-182 頁, 2015 年 3 月. 5．高橋慧：「造形と音楽を結び付けた子どもの表現活動に関する保育者の実践案と量的分析に基づく現状把握」,『美術教育学研究』第 38 号, 283 - 296 頁, 2017 年 3 月. 6．高橋慧：「造形と音楽を結び付けた表現活動が子どもに与える影響に関する現場保育者の現状認識と課題」,『美術教育学研究』第 49 号, 201- 208 頁, 2017 年 3 月. 7．高橋慧：「保育者志望学生に対するピアノ演奏指導の授業展開と学生の成長に関する一報告」,『教育研究実績報告書（くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第 50 巻第 1 号・第 2 号合併号に合冊）』, 2018 年 2 月.	岡山県警察 作陽音楽短期大学音楽学科幼児教育専攻 助教 くらしき作陽大学子ども教育学部子ども教育学科 講師	日本保育学会 大学美術教育学会 美術科教育学会	第 5 回若いピアニストのためのラフマニノフ記念国際コンクール（於：ロシア連邦） 第 3 位 美術科教育学会 『美術教育学』賞奨励賞
17	藤田 由起	講師		博士（心理学） 臨床心理士 公認心理師 心理リハビリテーショントレーナー	教育心理学 子ども家庭支援の心理学 教育相談の理論と方法 育人キャリアⅣ キャンパスライフデザインⅡ	【論文等】 藤田由起・遠矢浩一（2024）精神疾患の母親をもつ成人の学齢期における生活環境と精神的健康の関連ーヤングケアラー支援の観点からー. 特殊教育学研究. 藤田由起（2024）心理・社会的課題を有する同胞のケアを担うヤングケアラーの内的体験. くらしき作陽大学 作陽短期大学研究紀要, 57(1) 藤田由起・遠矢浩一（2023）ヤングケアラーの健康的で前向きな生活を支える要因の検討ー複線径路・等至性モデルを用いてー. リハビリテーション心理学研究, 49(1). 藤田由起・岡本悠那（2023）ヤングケアラーの相談・支援に必要な要素に関する研究ー大学生への実態調査を通してー. くらしき作陽大学 作陽短期大学 研究紀要, 56(1). 藤田由起・遠矢浩一（2023）精神疾患患者の配偶者の生きがい感と家族関係の関連ーヤングケアラー支援の観点からー. 日本特殊教育学会第 61 回大会発表論文集, P3B-27. 藤田由起（2023）保育者養成課程に在籍する大学生のアイデンティティ・ステイタスと保育職への認知の関連ー実習未経験の大学生に関する検討ー. くらしき作陽大学 作陽短期大学 研究紀要, 55(2), 61-70. 藤田由起・遠矢浩一（2022）ヤングケアラー的役割を有する子どもの家族関係と精神的健康の関連ーケア役割、母親の養育態度、きょうだい関係に着目してー. 特殊教育学研究, 59(4), 223-233. ※日本特殊教育学会令和 4 年度研究奨励賞 受賞論文 藤田由起・遠矢浩一(2022) 不安定な環境下でケアを担った経験を有する成人の内的体験. 日本心理臨床学会第 41 回大会発表論文集, 312. 藤田由起・遠矢浩一（2021）精神疾患の母親と暮らす子どものケア役割の程度が精神的健康に及ぼす影響. 日本教育心理学会総会発表論文集, 63, 387. 藤田由起・沖田夏美・樋渡由貴・井手沙織・尾方里帆・遠矢浩一（2019）きょうだいの障がい有無がきょうだい関係の認知や対人関係に及ぼす影響. 九州大学総合臨床心理研究, 10, 17-24. 他 【著書】 藤田由起(2022) 児童虐待への対応. 住本克彦(編著)コンパス教育相談.	九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床心理センター 相談員 福岡市教育委員会発達教育センター教育相談専門相談員（非常勤） 久山町教育委員会 特別支援教育相談員 他	日本心理臨床学会 日本教育心理学会 日本特殊教育学会 日本発達心理学会 日本リハビリテーション心理学会 日本臨床心理士会 岡山県公認心理師・臨床心理士協会	日本特殊教育学会 令和 4 年度研究奨励賞受賞

18	中野 広大	助教		学士(子ども教育学) 幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 放課後児童支援員 地域子育て支援士二種	子ども文化Ⅰ・Ⅱ 子ども文化理論演習 子ども文化実践演習 保育内容（言葉） 保育内容（言葉）の指導法 子育て支援実践演習 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 育人地域フィールドワーク 育人キャリアⅠ・Ⅲ キャンパスライフデザインⅠ ゼミナール 卒業研究	中野広大（2022）「保育内容（言葉）の指導法」における「絵本の読み聞かせ」の模擬保育に関する一考察（『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第55巻第1号） 中野広大（2022）「絵本の読み聞かせ」の模擬保育における学びに読書行動が与える影響に関する一考察（『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第55巻第2号） 浅野泰昌・中野広大（2022）児童文化財の制作と公演を核とした創造的協同活動による保育者・教員養成に関する一考察 ―くらしき作陽大学子ども教育学部附属児童文化部ばれっとの変遷と特徴―（『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第55巻第2号） 中野広大・浅野泰昌（2023）保育者・教員養成における児童文化財の活用に関する研究（1）―保育者・教員志望学生の表現力と協働性の育成に果たす人形劇の役割―（『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第56巻第2号） 山本健志郎・古和友子・中野広大（2023）保育実習で使用する指導案のループリック評価作成の試み（『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第56巻第2号）	長野県公立小学校教諭 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会（札幌市児童会館 指導員）	国際人形劇連盟日本センター 日本応用教育心理学会 日本保育者養成教育学会 日本保育学会	
19	横田 咲樹	助教		博士（学校教育学）	幼児教育課程論 保育・教職論 子ども家庭支援論 在宅保育 子ども理解の理論および方法（幼児理解の理論と方法） 子育て支援 保育・教職実践演習 子育て支援実践演習 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ 育スパート基礎 育スパート総合 育人キャリアⅢ	・横田咲樹・高橋敏之：「幼児期における色彩教育の研究動向と保育実践の教育課題」，大学美術教育学会学会誌『美術教育学研究』，第52号，369-376頁，2020年. ・横田咲樹・高橋敏之：「造形遊びの視点から見た幼児造形教育と小学校図画工作科教育の接続の課題―幼児教育関係告示文・領域「表現」と『小学校学習指導要領解説図画工作編』を中心に―」，大学美術教育学会学会誌『美術教育学研究』，第53号，313-320頁，2021年. ・横田咲樹・三村由香里・馬場訓子・津島愛子・高橋敏之：「4・5歳児学級の幼児が描く嘔吐する自分に見る身体像」，日本幼少児健康教育学会誌『日本幼少児健康教育学会誌』，第7巻第2号，97-110頁，2022年. ・横田咲樹・高橋敏之：「保育施設4・5歳児学級の幼児が描く消化吸収排泄する自分―思考力を育成する造形教育の試論的検討―」，日本美術教育連合論集『日本美術教育研究論集2022』，第55号，57-68頁，2022年. ・横田咲樹・高橋慧：「幼児期における造形的思考力への着目と造形活動を捉える視点」，大学美術教育学会学会誌『美術教育学研究』，第54号，385-392頁，2022年. ・横田咲樹・高橋慧：「保育内容・領域「表現」における「手触り」に関する研究動向と課題―幼児造形教育への展開を中心に―」，美術科教育学会学会誌『美術教育学』，第44号，299-310頁，2023年. ・横田咲樹・高橋敏之：「保育施設4・5歳児学級の幼児が描く発熱する自分」，日本美術教育連合論集『日本美術教育研究論集2023』，第56号，137-148頁，2023年. ・横田咲樹・西村(中川)華那・高橋敏之：「幼稚園4歳児学級における草花を使った遊びの展開に見る幼児の多様な学び」，『岡山大学教師教育開発センター紀要』，第13号，327-339頁，岡山大学教師教育開発センター，2023年. ・横田咲樹・西村(中川)華那・片山美香・高橋敏之：「幼稚園4歳児学級における草花を使った遊びの展開に見る教師の役割」，『岡山大学教師教育開発センター紀要』，第14号，33-46頁，岡山大学教師教育開発センター，2024年.	岡山市内私立認定こども園保育教諭	日本保育学会 大学美術教育学会，美術科教育学会， 日本美術教育学会，日本美術教育連合	

【健康スポーツ教育学部 健康スポーツ教育学科】 専任教員数9名									
No.	氏名	職位	役職	学位(資格)	主な担当科目	主な研究業績	主な職歴	所属学会	賞罰等
1	杉山 貴義	教授	学部長 兼 学科長	教育学修士 高等学校教諭一級保健 体育普通免許状 中学校教諭一級保健体 育普通免許状	運動生理学 健康スポーツ マリンスポーツ ウィンタースポーツ	【著書】 ・考えて強くなる ソフトテニス・トータルデザイン、共著、2008、大修館書店 ・新版 ソフトテニスコーチ教本、共著、2004、大修館書店 ・新版 ソフトテニス指導教本、共著、2004、大修館書店 他 5 編 【論文】 ・短期大学に通う保育学生の BRS の下位因子と新体力テストの関連、共著、2023、くらしき作陽大学・作陽短期大学 研究紀要 第 55 巻第 2 号、71-779 頁 ・短期大学に通う保育学生の体力の現状と関連する特徴について、共著、2022、くらしき作陽大学・作陽短期大学 研究紀要 第 54 巻第 2 号、53-59 頁 ・小学校教員採用試験受験学生の体力特性について―採用試験合格者と不合格者との比較―、共著、2020、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学「研究紀要」第 52 巻第 2 号、63-67 頁 ・くらしき作陽大学子ども教育学部学生の体力特性について、共著、2018、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学「研究紀要」第 50 巻第 1 号・第 2 号合併号、173-180 頁 他 29 編	常葉学園短期大学 専任講師 静岡大学 非常勤講師 岡山県立大学 非常勤講師 岡山商科大学 非常勤講師 岡山大学 非常勤講師 香川大学 非常勤講師 作陽短期大学 助教授 くらしき作陽大学子ども教育学部 准教授 作陽短期大学 教授 くらしき作陽大学健康スポーツ教育 学部 教授 (現在に至る)	日本テニス学会	
2	河村 敦	教授		学術修士	心理学 教育心理学 データサイエンス マーケティング論 商品開発論Ⅱ 商品開発実習Ⅰ・Ⅱ 商品企画開発演習 リテールマーケティング (販売士)養成セミナー キャリアライフデザイン	(著書) 1.心理学 2 0 講 第Ⅱ部 12 講「レスポナデント行動」p103-111 北大路書房 1991 2.食心理学 (デジタルテキスト) 岡山オルガノン大学教育連携センター 2011 3.管理栄養士・栄養士のための統計処理入門 第 9 章「BMI 区分による差の判定 (対応のない独立多標本の検定)」p115-126, 第 10 章「血糖値には食事条件や計測条件が関係するか (関連のある多標本の検定)」p127-154 建帛社 2012 (論文) 1.コンピュータ版心理学テキストの作成手法の開発(1) 情報処理学会研究報告, Vol. 92, No. 77, 19-27 2.心理学分野でのコンピュータ支援学習シ ステムの開発-CTP システムの構成とその学習効果 情報処理学会研究報告, Vol. 93, No. 105, 1-11 3.コンピュータ版心理学テキストの作成手 法の開発 (2) -CTP と書籍型テキストとの学習効果の比較-情報処理学会研究報告, Vol. 94, No. 10, 1-10 4. 食生活習慣がニート傾向に及ぼす影響 くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要 第 39 巻第 2 号 63-77 頁 5. 摂食障害と養育態度との関連性 くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要 第 39 巻第 2 号 79-97 頁 6. 隠す食文化 くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要 第 45 巻第 2 号 53-60 頁 7.学修意欲を高める教授方法の検討 くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要 第 49 巻第 2 号 133-138 頁 8.玉島の茶文化を活かした商品開発 くらしき作陽大学 ・ 作陽音楽短期大学研究紀要 第 50 巻第 1 号・第 2 号 合併号 9.イグサの消臭効果について 日本家政学会誌, Vol. 73, No. 5, 246-254 10.高純度ドコサヘキサエン酸含有飼料投与による鶏卵の嗜好性および調理特性の変化 くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要 第 55 巻第 1 号 17-30 頁 (講演・実践活動) 1. 人生における食の変化―食の心理学― 岡山県生涯学習大学講座 2008 2. 消費者行動の不思議を探る 大学コンソーシアム岡山吉備創生カレッジ 2009 3. 経産牛肉 (放牧仕上げの熟ビーフ) の利用 近畿中国四国農業研究センター・くらしき作陽大学協同事業報告 2011 4. 裸麦「キラリモチ」のパンズと「放牧仕上げ熟ビーフ」のハンバーグを使った「さくようバーガー」平成 24 年度 近畿中国四国農業研究センター 一般公開 2012 5. 連島ごぼうシフォンケーキの開発 「倉敷市」50 周年記念～至極の逸品～くらしきフェア 高梁川流域グルメ開発 2017 6. 「食べ物の不思議 好み・美味しさ・満腹感の決め手は？」倉敷市大学連携講座 2018 7. 「食べて元気！DHA の優れた効果&くらしき特産野菜から商品開発の道のり」倉敷市大学連携講座 2019	作陽短期大学情報処理学科 助手 作陽短期大学情報処理学科 講師 作陽短期大学情報処理学科 助教授 くらしき作陽大学食文化学部 准教授	日本国際教養学会 日本心理学会 中国四国心理学会	くらしき作陽大学 ティーチャングアワード受賞 2016
3	神田 亮一	教授		体育学士 中学校教諭一級・高等学校教諭二級普通免許(保健体育) 学校心理士 心理検査士 日本スポーツ協会公認コーチⅠ 日本バスケットボール協会公認C級コーチ、T級審判インストラクター	教職キャリア 生徒・進路指導論 球技演習 健康スポーツ くらしき学	「大学の教育資源を地域に還元する取組について」(教育研究実績報告 2025 年度提出済)	岡山県公立高等学校教諭(保健体育) 岡山県公立高等学校長 岡山県環境文化部スポーツ振興課長 岡山県高等学校体育連盟会長 くらしき作陽大学食文化学部非常勤講師 くらしき作陽大学事務局入試広報参与	日本体育スポーツ健康学会 日本部活動学会 日本学校心理士会 日本教育評価研究会	全国高等学校体育連盟表彰(令和 5 年)

4	富山 恭行	教授		博士（医学） 医師免許証 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本肝臓学会指導医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器病学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療指導責任者 日本感染症学会 ICD 難病指定医 身体障害者指定医 ロコモサポータードクター がんロコモドクター 岡山県地域産業保健センター登録産業医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医 日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター	スポーツ医学 救急看護法 学校保健 解剖生理学 解剖生理学実習 病理学 総合演習 栄養学演習	業績リンク： https://researchmap.jp/7000027824 【学術論文】 71 編 1. Characteristics of diabetes mellitus patients with nonviral chronic liver disease who developed hepatocellular carcinoma. Hepatology Research. doi: 10.1111/hepr.14124. Online ahead of print. 2024 2. 4D Flow MRI Reflects Physiological Hemodynamics for the Diagnosis and Management of Portosystemic Shunts. Magnetic Resonance in Medicine. doi: 10.2463/mrms.ici.2023-0161. 2024 3. Pancreatic ductal adenocarcinoma with acinar-to-ductal metaplasia-like cancer cells shows increased cellular proliferation. Pancreatology S1424-3903(23) 01611-3. doi: 10.1016/j.pan.2023.08.007. 2023 4. Advanced gastrointestinal stromal tumor with intracerebral hemorrhage during sunitinib treatment. Kawasaki Medical Journal 48 169-174. 2023 5. A case of successful treatment with antiretroviral therapy for HIV in a patient with marked liver dysfunction. Heliyon 8(11) e11550-e11550. 2022 6. Endoscopic Eradication of Esophageal Varices Transiently Affects the Development and Severity of Portal Hypertensive Gastropathy. Journal of Clinical and Medical Images 5(14) 1-7. 2021 7. Hepatocellular carcinoma development in diabetic patients: a nationwide survey in Japan. Journal of Gastroenterology 56(3) 261-273. 2021 8. Long-term phlebotomy successfully alleviated hepatic iron accumulation in a ferroportin disease patient with a mutation in SLC40A1: a case report. BMC gastroenterology 21(1) 111-111. 2021 9. Dipeptidyl Peptidase 4 Inhibitors Reduce Hepatocellular Carcinoma by Activating Lymphocyte Chemotaxis in Mice. Cellular and Molecular Gastroenterology and Hepatology 7(1) 115-134. 2019 10. Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein predicts the development of hepatocellular carcinoma in patients with non-alcoholic fatty liver disease. Hepatology Research 48(7) 521-528. 2018 11. Assessment of hepatic fibrosis with superb microvascular imaging in hepatitis C virus-associated chronic liver diseases. Hepatology Research 47(6) 593-597. 2017 12. Multicenter comparative study of laparoscopic and open distal pancreatectomy using propensity score-matching. Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences 22(10) 731-736. 2015 13. Fibroblast activation protein-alpha-expressing fibroblasts promote the progression of pancreatic ductal adenocarcinoma. BMC gastroenterology 15(109) 109-109. 2015 14. Branched-chain amino acids reduce hepatic iron accumulation and oxidative stress in hepatitis C virus polyprotein-expressing mice. Liver International 35(4) 1303-1314. 2015 15. Hepatitis C Virus Core Protein Suppresses Mitophagy by Interacting with Parkin in the Context of Mitochondrial Depolarization. American Journal of Pathology 184(11) 3026-3039. 2014 16. Hepatic oxidative stress in ovariectomized transgenic mice expressing the hepatitis C virus polyprotein is augmented through suppression of adenosine monophosphate-activated protein kinase/proliferator-activated receptor gamma co-activator 1 alpha signaling. Hepatology Research 44(10) E229-E239. 2014 17. Clinical usefulness of non-protein respiratory quotient measurement in non-alcoholic fatty liver disease. Hepatology Research 43(12) 1284-1294. 2013 18. Risk factors for survival and the development of hepatocellular carcinoma in patients with primary biliary cirrhosis. Internal Medicine 52(14) 1553-1559. 2013 19. Type I interferon receptor in peripheral blood mononuclear cells may predict response to intra-arterial 5-fluorouracil. Hepatic Medicine Evidence and Research 3 45-52. 2011 20. Focal Nodular Hyperplasia - Like Nodule with Reduced Expression of Organic Anion Transporter 1B3 in Alcoholic Liver Cirrhosis. Internal Medicine 50(11) 1193-1199. 2011 21. Comparison of therapeutic effects between radiofrequency ablation and percutaneous microwave coagulation therapy for small hepatocellular carcinomas. Journal of Gastroenterology and Hepatology 24(2) 223-227. 2009 22. Radiofrequency ablation versus percutaneous microwave coagulation therapy for small hepatocellular carcinomas: A retrospective comparative study. Hepato-gastroenterology 54(76) 985-989. 2007 23. CO2-enhanced sonographically guided radiofrequency ablation and transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma poorly defined on conventional sonography. Journal of Clinical Ultrasound 35(2) 78-81. 2007 24. Use of intra-arterial carbon-dioxide-enhanced ultrasonography for guidance of radiofrequency ablation and transcatheter arterial chemoembolization in hepatocellular carcinoma. Cardiovascular and Interventional Radiology 29(6) 1111-1113. 2006 25. Thermal ablation therapy for hepatocellular carcinoma : Comparison between radiofrequency ablation and percutaneous microwave coagulation therapy. Hepato-gastroenterology 53(71) 651-654. 2006 26. Carbon dioxide-enhanced sonographically guided radiofrequency ablation plus transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma. Journal of Vascular and Interventional Radiology 17(4) 723-726. 2006 27. Improved prognosis of cirrhosis patients with esophageal varices and thrombocytopenia treated by endoscopic variceal ligation plus partial splenic embolization. Digestive Disease and Sciences 51(2) 352-358. 2006 28. Carbon dioxide-enhanced sonographically guided radiofrequency ablation combined with transcatheter arterial chemoembolization for sonographically undetectable hepatocellular carcinoma. Hepato-gastroenterology 52(65) 1344-1346. 2005 ※他 43 編 【著書】 3 編 1. 肝硬変治療マニュアル：エキスパートのコツとさじ加減 南江堂 2019 (ISBN:9784524248810) 2. 進行肝癌に対する 5-FU 動注/IFN 治療効果予測因子としての末梢血単核球(PBMC) IFN receptor の意義 -a pilot study- メディカルトリビューン 2011 (ISBN:9784895893688) 3. 肝がん「インフォームドコンセントのための図説シリーズ」 医薬ジャーナル社 2009 (ISBN:9784753223503) 【学会発表】 336 件（筆頭演者 71 件） 【社会貢献活動】 84 件（講演・セミナーなど） 【学術貢献活動】 7 件（学会主催・運営）	川崎医科大学肝胆膵内科学 講師 川崎医科大学付属病院肝・胆・膵内科 医長 ぐらしき作陽大学食文化学部栄養学科 教授 川崎医科大学付属病院消化器内科非常勤医師（現在に至る） ぐらしき作陽大学健康スポーツ教育学部 教授（現在に至る）	日本内科学会（中国支部評議員） 日本肝臓学会（西支部評議員） 日本消化器病学会（中国支部評議員） 日本肝癌研究会 日本感染症学会 玉島医師会 岡山県医師会 日本医師会	第 25 回日本消化器関連学会週間（JDDW2017 FUKUOKA）ポスター優秀演題賞 第 43 回日本肝臓学会西部会 男女共同企画・キャリア支援委員会企画最優秀プレゼンター賞
---	-------	----	--	---	---	--	--	--	--

5	山口 徹尚	教授		教育学士 高等学校教諭 1 種普通 免許状（保健体育） 中学校教諭 1 種普通 免許状（保健体育）	健康スポーツ 健康科学 教職キャリア 中等保健体育科指導法 初等体育科指導法 運動方法学 球技演習Ⅳ（ラグビー）	私の指導法「思考することを習慣化する」、2014、岡山県高体連年報 体育理論「運動やスポーツの効果的な学習の仕方」、2015、岡山県高教研保健体育部会年報 学校の教育力向上を目指して「令和の日本型学校教育の実現に向けた学校経営」、2023、全国高等学校長協会 教育課題検討委員会資料	【公職】 岡山県立高等学校教諭・指導教諭・ 主幹教諭 岡山県教育庁競技力対策課指導主事 岡山県教育庁保健体育課指導主事 岡山県スポーツ振興課総括参事・課 長 岡山県立津山工業高等学校長 岡山県立玉野光南高等学校長 【団体】 公益財団法人岡山県スポーツ協会理 事 公益財団法人倉敷スポーツ公園理事 岡山県レクリエーション協会副会長 岡山県高等学校体育連盟副会長・ラ グビー専門部長・美作支部長・備前 支部長 全国高等学校長協会体育部会理事 岡山県高等学校教育研究会保健体育 部会長・情報部会長 岡山県ラグビーフットボール協会理 事・強化委員長		岡山県高等学校体育連盟功労者表彰 (2023)
6	岡井 克明	講師		学士（体育） 日本スポーツ協会公認 スポーツ指導者体操競 技コーチ 3	体育Ⅰ 体育Ⅱ 保育内容（表現） 保育内容（表現）の指導 法 マリンスポーツ ウィンタースポーツ	「幼児の発育発達と運動指導ーゴール動作を目指した習得法 1ー（共著）」岡山大学スポーツ教育センター 「大学体育授業における e-Learning を活用した身体活動増進プログラムの長期効果（共著）」岡山大が鵜スポ ーツ教育センター	株式会社天満屋 岡山県体操協会理事 岡山県体操協会事務局長 岡山市体操協会監事 岡山県トップアスリート指導員 国民体育大会（体操）監督・コーチ 岡山 momo 体操クラブ代表 おかやまジュニア体操スクール副代 表 NPO 法人桃太郎夢クラブ外部コーチ 岡山県南部健康づくりセンター外部 コーチ 岡山大学非常勤講師 倉敷芸術科学大学非常勤講師 岡山赤十字看護専門学校非常勤講師 くらしき作陽大学子ども教育学部専 任講師	（公財）日本スポーツ協会 （公財）岡山県スポーツ協 会 日本幼児体育学会 日本体操競技・器械運動学 会	
7	常浦 光希	講師		修士（教育学）	体育原理 体育社会学 体育経営管理学 地域フィールドワーク など	・地域スポーツクラブ事業に参画する高校生と大学生のボランティアに対するイメージ変化、大学地域連携学 研究 4：69-76、2025：筆頭著者 ・大学を拠点とする地域スポーツクラブの持続性に影響を与える要因について、大学地域連携学研究 4：58- 63、2025：共著 ・保健体育科教員養成課程における初年次段階の学生が有する「陸上競技授業観」の実態：学生のマイクロテ ィーチングに対する授業リフレクションに着目して、広島体育学研究 51：1-12、2025：共著 ・中学校における運動部活動イノベーションの実施状況に関する調査研究、体育・スポーツ経営学研究 37： 67-83、2024：筆頭著者 ・運動・スポーツ生活からみたスポーツ指導者への変容：ライフストーリーを用いて、岡山体育学研究 23：28- 33、2016：筆頭著者 ・運動生活の成立条件に関する再検討：運動生活者による意味づけの視角から、体育・スポーツ経営学研究 29：1-20、2016：筆頭著者 など	環太平洋大学体育学部 助教 環太平洋大学体育学部 講師 環太平洋大学初年次教育部 メンタ ー長 広島大学大学院人間社会科学研究科 研究員	中国四国教育学会 広島体育学会 初年次教育学会 大学地域連携学会 日本体育・スポーツ経営学 会 日本体育・スポーツ・健康 学会 岡山体育学会	令和 6 年度広島体育学会 学生優秀発 表賞（オーラル発表） など
8	渡邊 知晃	講師		修士（スポーツ健康科 学） 中学校教諭一種免許状 （保健体育） 高等学校一種免許状(保 健体育) 日本サッカー協会公認 C 級指導者ライセンス 日本サッカー協会公認 フットサル B 級指導者 ライセンス	健康スポーツ 球技演習Ⅱ	【著書】 単著 『蹴』論～シュートは考え方で決定力が高まる～ 【学会発表】 トレーニング科学会 「フットサル選手における試合中の動きに関する研究・ウェアラブルデバイスの IMU を指標として」	プロフットサル選手 ゼビオ株式会社 ティー・エム・エス株式会社 有限会社サンケイメディア FIGOSJAPAN 株式会社 EPG 株式会社 株式会社ユニベルサーレ	トレーニング科学会	日本サッカー協会（JFA）100 周年特別 功労賞 F リーグ得点王（2017-2018 シーズン）

9	宇田 響	助教	教務委員会委員長	修士（教育学） 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 （社会）	教育の制度と経営 教育学概論 教職論 キャンパスライフデザインⅠ・Ⅱ 教育実習 教育実習指導	①紺谷遼太郎・宇田響，2025，「自己学習時のスマートフォン利用と学習方略、学業成績の関連」『日本教育工学会論文誌』vol. 49（Suppl）．近刊。 ②宇田響，2025，「児童会・生徒会活動での校則改定に関する意識と実態」『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第 57 巻第 2 号，pp. 13-21. ③宇田響・実森有紀，2024，「小学校の「クラブ活動」における指導の実態」『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第 56 巻第 2 号，pp. 3-12. ④宇田響・前原鈴，2024，「「作陽ぶらっつ！」における個別学習支援活動の概要と学生の学び」『教育研究実績報告書（くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第 56 巻第 2 号）』，pp. 81-88. ⑤松下佳代・田中孝平・大野真理子・武藤浩子・宇田響・岡田航平，2023，「高大接続における学生の移行の多様性」『大学教育学会誌』第 45 巻第 2 号，pp. 115-120. ⑥宇田響，2023，「ボーダーフリー大学生に学習習慣を身につけさせるのがなぜ困難なのか：私立 Z 大学における教育系学部を事例として」『教育学研究ジャーナル』第 28 号，pp. 63-72. ⑦宇田響・山本優・山田浩之・尾川満宏，2023，「総合的な学習／探究の時間における指導のあり方：小学校・中学校・高等学校での学習方法と能力の向上感の関連性に着目して」『教育社会学研究年報』第 11 号，pp. 1-9. ⑧宇田響・北岡優，2023，「教職を志す学生の校則の運用に関する認識」『くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要』第 55 巻第 2 号，pp. 21-28. ⑨宇田響・葛城浩一，2023，「「学術研究」の「教育」への還元がなぜ困難なのか：教員へのインタビュー調査による試行的検討」『兵庫高等教育研究』第 7 号，pp. 135-148. 他 18 編	呉医療センター附属呉看護学校（非常勤講師） 広島大学大学院教育学研究科（フェニックス・ティーチング・アシスタント） 矢掛町学校運営協議会・委員（現在に至る） 矢掛町専門評価委員（現在に至る）	日本教育社会学会 日本高等教育学会 大学教育学会 中国四国教育学会	
---	------	----	----------	---	---	--	--	--	--

【作陽短期大学 音楽学科】専任教員数10名									
No.	氏名	職位	役職	学位(資格)	主な担当科目	主な研究業績	主な職歴	所属学会	賞罰等
1	菅付 章宏	教授	音楽専攻長	音楽学士	専修実技 管弦楽I-IV 合奏I-II アンサンブル(吹奏楽)	(CD)「ダフニスとクロエ」1988年10月オスナブリュック音楽協会	おかやま山陽高校芸術コース講師		
2	長瀬 敏和	教授		音楽学士 中学校教諭1種免許(音楽) 高等学校教諭1種免許(音楽)	【個人実技】 サクソフォン 【演習】 室内楽(サクソフォン) 合奏(サクソフォン) 吹奏楽合奏 吹奏楽の歴史と魅力 音楽人地域フィールドワーク 音楽貢献実践	【演奏】 サクソフォンリサイタル(毎年開催) 管弦楽団、吹奏楽団と共演(客演、独奏、指揮など) 【教育】 管楽器・吹奏楽・マーチング等コンクール審査員、国際サクソフォンアカデミー講師(タイ)、音楽雑誌掲載・寄稿など 【企画】 サクソフォンフェスティバル音楽監督、玉島音楽フェスティバル運営協議会会長など	大阪市職員 大阪市音楽団サクソフォン奏者 大阪市音楽団コンサートマスター 作陽音楽大学非常勤講師 相愛大学非常勤講師	日本サクソフオーン協会 運営委員 玉島音楽フェスティバル 運営協議会会長	第1回日本管打楽器コンクールサクソフオーン部門入選 第2回宝塚ベガ音楽コンクール室内楽部門入選 CD「クローバーリーフ・スイート」レコード芸術誌特選盤
3	重利 和徳	講師	演奏芸術センター長	学士(音楽) 中学校教諭専修免許状(音楽)、高等学校教諭専修免許状(音楽)	専修実技(ピアノ)、室内楽(ピアノ)、コミュニケーションライフデザイン、くらしき学、他	【演奏】 アザレア音楽祭2025「オープニングコンサート」ショパンピアノ協奏曲第1番 【活動】 ルネスアウトリーチ事業 文化庁芸術家派遣事業	山陽女子高等学校(現山陽学園高等学校)、岡山県立大学非常勤講師	全日本ピアノ指導者協会(PTNA)、日本ピアノ教育連盟(JPTA)	第13回鳥栖ピアノコンクールグランプリ、第14・16回ペーテンピアノコンクール最優秀指導者賞
4	川野 七彩	講師		修士(音楽)	主科レッスンⅠ～Ⅷ ソルフェージュⅠ～Ⅳ 教育指導ピアノⅠ・Ⅱ 副科ピアノ演習Ⅰ～Ⅳ	ウィーンにてユナイテッドオイロッパと、モーツァルトのピアノ協奏曲第24番、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を共演。東京にてジャパンチェムパーフィルハーモニーと、スロヴァキアにてブラチスラヴァ・カンマームジークシュペラーと、バッハのピアノ(チェンバロ)協奏曲第1番を共演。	くらしき作陽大学子ども教育学部非常勤講師 くらしき作陽大学音楽学部非常勤講師	岡山県演奏家協会	
5	廣田 敬子	教授	保育士資格 幼稚園教諭二種免許		保育内容(健康) 保育内容(健康)の指導法 保育・教職実践演習 教育実習指導	保育園における食育活動の研究 心の豊かさ、知識や興味を育てる絵本についての研究 基本的生活習慣や生活リズムについての研究 子どもの発達に即した運動遊びの研究 園内研究の取り組みについて	山市公立保育園保育士 岡山市公立保育園副園長 岡山市公立保育園園長 岡山市役所 保育・幼児教育課保育専門監 岡山市保育協議会研修部		
6	藤井 伊津子	教授		修士(児童学)	・保育内容(人間関係) ・保育内容(人間関係)の指導法 ・保育実習指導 ・教育実習指導	【論文】 ・読み聞かせ活動の変遷から見る読み聞かせボランティアの意義, 彰栄保育福祉専門学校紀要(39)43-53, 2024(共著) ・グリム童話「かえるの王さま、または、鉄のハインリヒ」にみる昔話の力ー語りを聞いた児童と大学生の感想からー, 吉備国際大学 心理・発達総合研究センター紀要(7)45-53, 2021(筆頭著者) ・アウトリーチ型地域子育て支援活動への参加学生の学びー未就園児親子への「出前講座(親子ふれあい遊び)」の実践からー, 吉備国際大学研究紀要(人文・社会科学系)(29)109-124, 2019(筆頭著者) 【著書】 ・基礎から学べる保育内容(言葉)ワークブック, あいり出版, 2024(共著・コラム15) ・基礎からまなべる保育内容(環境)ワークブック, あいり出版, 2021(編者・コラム1) 基礎からまなべる保育内容(人間関係)ワークブック, あいり出版, 2021(編者) ・明日の保育・教育にいかす子ども文化, 溪水社 2015(編者・第4章) ・保育者への扉, 建帛社, 2012(共著・Chapter6)	・社会福祉法人持宝会 竜王保育所, 保育士 ・順正短期大学, 助手 ・吉備国際大学短期大学部幼児教育学科, 講師 ・吉備国際大学, 子ども発達教育学科, 講師 ・作陽短期大学, 音楽学科幼児教育専攻, 教授(2025年4月～)	・日本保育学会 ・日本子ども学会 ・日本通信教育学会	・全国保育士養成協議会会員校教職員表彰(2017)

7	古和 友子	准教授	キャリア支援委員会副委員長 学生募集委員会委員長（短大）	学士	乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子育て支援 保育内容「環境」 保育内容「環境」指導法 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ 教育実習指導 保育・教職キャリアⅢ 育人キャリアⅢ 子育て支援実践演習	日本保育学会ポスター発表 「継続的な乳児保育カンファレンスの成果と課題」-保育士が感じた困難さの分析- 日本応用教育心理学会第38回研究大会発表 保育実習で使用する指導案のルーブリック評価の作成の試み 作陽短期大学・くらしき作陽大学研究紀要掲載 模擬保育に対する保育実習未経験学生の認識の変容 —実習指導の充実に向けて— カリキュラム研究開発を目的とした2年間の研究委託事業に携わり、以下の4テーマで、実践研究を行い「カリキュラム開発ブック」を作成。 ・カリキュラム編成の際の5つのポイント ・各指定園の3年間のあゆみ中でとらえた変容・成果と課題 ・カリキュラム開発過程における取組参考事例 ・カリキュラム参考例 未満児保育における発達を促す研究委託事業に携わり、以下の4テーマで実践研究を行う。 ・未満児保育特有の保育の在り方の意味のとらえ直し ・未満児保育における子ども理解を深め、学びや育ちをとらえていくことの重要性の再認識 ・以上の2点を踏まえた、未満児保育における「子ども主体の保育」の創造	学校法人多幾山学園 焼山こぼと幼稚園 勤務（幼稚園教諭） 〃 主任 就任 〃 教頭 就任 学校法人多幾山学園子育て支援センター 副センター長 就任 （焼山こぼと幼稚園教頭と兼務） 社会福祉法人紅楓福祉会こぼとの森保育園子育て支援センター長 就任 社会福祉法人紅楓福祉会 認定こども園こぼとの森 教務主任 就任 （子育て支援センター長と兼務） 学校法人馬越学園 八本松みづき認定こども園 副園長 就任 学校法人馬越学園 西条みづき認定こども園 副園長 就任 広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 主査 就任 広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 幼児教育アドバイザー就任 作陽短期大学音楽学科幼児教育専攻准教授就任	日本保育学会	2024年度ティーチングアワード受賞
8	伊藤 美保子	准教授		保育士資格 幼稚園教諭二級免許状	保育原理 保育内容総論 保育学 教育課程論 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 教育実習指導 教育実習	【著書】 1. 伊藤美保子・西隆太朗（2012）「保育の中の子ども達」 大学教育出版 2. 伊藤美保子・西隆太朗（2020）「写真で描く乳児保育の実践—子どもの世界を見つめて」 ミネルヴァ書房 3. 西隆太朗・伊藤美保子（2023）「動画で学ぶ乳児保育—0・1・2歳児の遊びと援助」 ひとなる書房 4. 西隆太朗・伊藤美保子（2024）「0～5歳児保育の写真・動画から学ぶ 保育を見ること、語り合うこと」 小学館 【保育雑誌連載】 ・「幼児と保育増刊号 0・1・2歳児の保育 保育を見ること、語り合うこと 試して遊ぶ—1歳児の自由遊び」2025. 春号 pp. 32-34（共著） ・「新幼児と保育 保育を見ること、語り合うこと ある夏の日の園庭—自然・水・子どもたち」2025. 夏号 pp. 25-27（共著） ・「新幼児と保育 保育を見ること、語り合うこと 実りの秋—子どもとともに作る日常」2025. 秋号 pp. 32—34（共著） 【論文】 ・0歳児の手の発達と遊び—保育園におけるH児の事例を通して—ノートルダム清心女子大学紀要 生活経営学・児童学・食品栄養学編32（1）pp. 9—16 2008. 査読有り（単） ・保育士と保護者の食育意識に対する一考察—保育所におけるアンケート調査より— ノートルダム清心女子大学紀要 生活経営学・児童学・食品栄養学編33（1）pp. 127-135 2009. 査読有り（単） ・赤ちゃんが来てくれた日—「乳児保育の授業」における乳児の実際の観察— ノートルダム清心女子大学 児童臨床研究所年報22. pp. 107—117 2010.（共） ・子どもたちと出会う私 「幼児の教育」110.（4）pp. 62—66 2011（共） ・0歳児Hくんの保育園生活におけるロコモーション発達から—「写真は語る」法による観察研究 ノートルダム清心女子大学児童臨床研究所年報25. pp. 42—51 2012（共） ・養護と教育の一体性—保育現場における実践知の観点から—保育の実践と研究 18.（2）pp. 18—28 2013. 査読有り（共） ・実習生とともに保育を考える—事後指導における振り返りを通して—保育士養成研究 31. pp. 105—114 2014. 査読有り（共） ・乳児保育の実践と保育者の関わりを考えるために—映像記録を用いた授業を通して 保育者養成教育研究 1, 85—95 頁 2015. 査読有り（共） ・一人ひとりを大切にする保育（2）—0歳児の入園期に着目して— ノートルダム清心女子大学紀要 人間生活学・児童学・食品栄養学編 40.（1）pp. 76—85 2016. 査読有り（共） ・乳児期の遊び環境と保育者のかかわり—1歳児クラスの観察から— ノートルダム清心女子大学紀要 人間生活学・児童学・食品栄養学編 42.（1）pp. 9—19 2018. 査読有り（共） ・乳児期の遊び環境と保育者のかかわり—2歳児クラスの観察から— ノートルダム清心女子大学紀要 人間生活学・児童学・食品栄養学編 43.（1）pp. 25-37 2019. 査読有り（共） ・保育を見ること、語り合うこと—ハンバーガー屋さんのごっこ遊び新 幼児と保育 2021（4・5）30—32 頁 小学館.（共） ・保育を見ること、語り合うこと —装う・包む・着せる—布から広がる遊び 新 幼児と保育 2022（9・10月）23-25 頁（小学館）（共） ・保育を見ること、語り合うこと—話し合う楽しさ、豊かな環境の中で 新 幼児と保育 2024（4・5月）32-34 頁（小学館）（共） 【学会発表】 ・土踏まずと体格、運動能力、重心動揺との関係—縦断的資料より—日本保育学会第59回大会 2007.（共） ・子どもの育ちと食育Ⅰ—保育園におけるアンケート調査より— 日本保育学会第61回大会発表 2008. ・2009年～2024年第77回保育学会まで毎年発表 ・幼児期の遊びに関する事例研究—指導計画と子どもから生まれる遊び 日本保育学会第78回大会発表 2025.（共） ・乳児保育の観察研究における知をどう捉えるか—方法論の検討を通して—日本乳幼児教育学会第33回大会 シンポジウム 2023. 【講演他】 ・倉敷市民間保育所協議会 主任保育士研修会『主任保育士のあり方を考える—子ども達のしあわせのために—』倉敷市民間保育所協議会 2018 ・倉敷市乳児研修会「その子らしさを大切にする保育—遊び環境と保育者の関わり—」倉敷市保育協会乳児研修会 2024, 11 ・小学館せんせいゼミナール オンライン講座「保育を見ること、語り合うこと～こどもの姿と保育者のかかわり」小学館主催オンライン講座 2025. 2（共）	倉敷市私立保育園 保育士・主任保育士 ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科准教授	日本保育学会 日本乳幼児保育学会	一般社団法人 全国保育士養成協議会 教職員表彰（2016）

9	水田 有美	講師		学士（教育学） 修士（医療福祉学） 保育士資格 幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭二種免許状 自閉スペクトラム支援士 （STANDARD） 特別支援教育士 ABA ペアレントトレーナー シブリングサポーター	保育内容総論 子ども家庭福祉 社会的養護Ⅰ・Ⅱ 障害児保育Ⅰ・Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	共著．(2021)．発達障害と愛着障害との関係性に関する研究動向の概観と両者が併存する事例への支援に関する一考察．くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第53巻第2号（通巻第95巻）． 共著．(2022)．短期大学に通う保育学生の体力の現状と関連する特徴について．くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学研究紀要第55巻第1号（通巻第97巻）． (2024)．保育士が自閉症児の保護者との協働の実感を獲得するプロセスに関する研究．川崎医療福祉大学大学院修士論文 共著．(2026)．新卒保育者の就業継続を支える要因に関する一考察．くらしき作陽大学・作陽短期大学研究紀要第58巻第1号・第2号合併号（通巻104号）． 審査中 著書：共著．(2024)．『社会的養護Ⅰ・Ⅱ-社会的養護の理念と実践-』株式会社みらい	倉敷市私立保育園保育士 倉敷市多機能型児童発達支援事業所 管理者兼児童発達支援管理責任者	日本LD学会 日本自閉症スペクトラム学会 川崎医療福祉学会	
10	山本 健志郎	講師	幼児教育専攻長	修士（教育学）	保育原理 保育・教職論 子ども理解の理論と方法 保育内容（言葉） 保育内容（言葉）の指導法 子ども家庭支援論 保育者養成基礎講座 保育者養成応用講座 キャンパスライフデザイン	1 ルーブリックによる実習評価と実習後の振り返りの関係ールーブリックの回答順に着目してー 2 目標志向を支える要因について～ベイジアンネットワーク構築による一考察～（修士論文） 3 養育態度と非認知能力が目標志向性に与える影響の検討（査読付き） 4 短期大学に通う保育学生の体力の現状と関連する特徴について 5 短期大学に通う保育学生のBRSの下位因子と新体力テストの関連 6 保育士養成校の実習担当教員と施設職員のインタビューから施設実習の課題の抽出 7 保育実習で使用する指導案のルーブリック評価作成の試み 8 幼児のレクリエーション活動についての検討～心の元気づくりの課題と発達に着目して～（査読付き）	四国進学会 東京福祉大学短期大学部	日本保育学会 日本発達心理学会 日本応用教育心理学会	